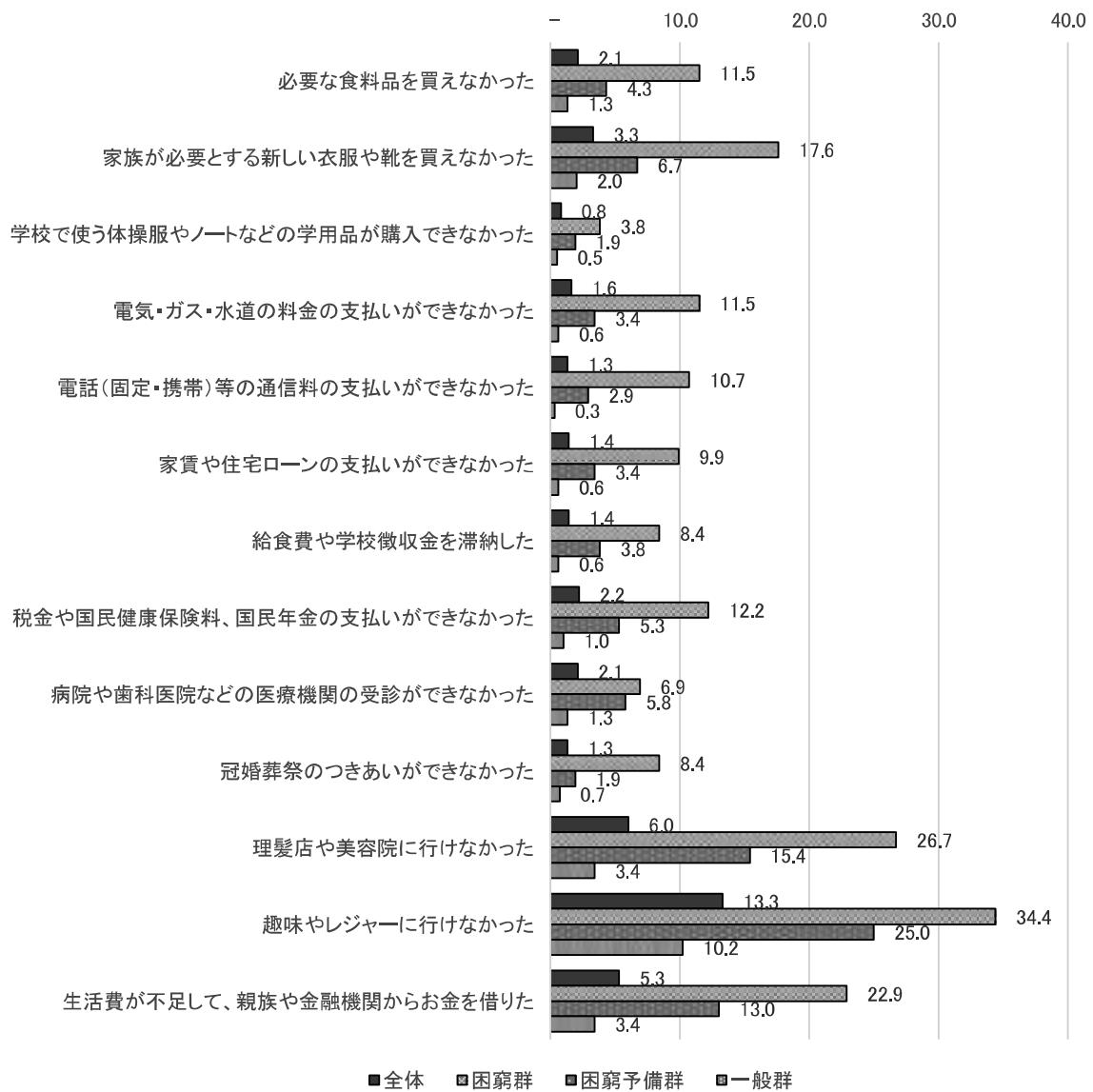


【小5・中2 保護者】 経済的理由で経験したこと（過去1年間） 「問17」

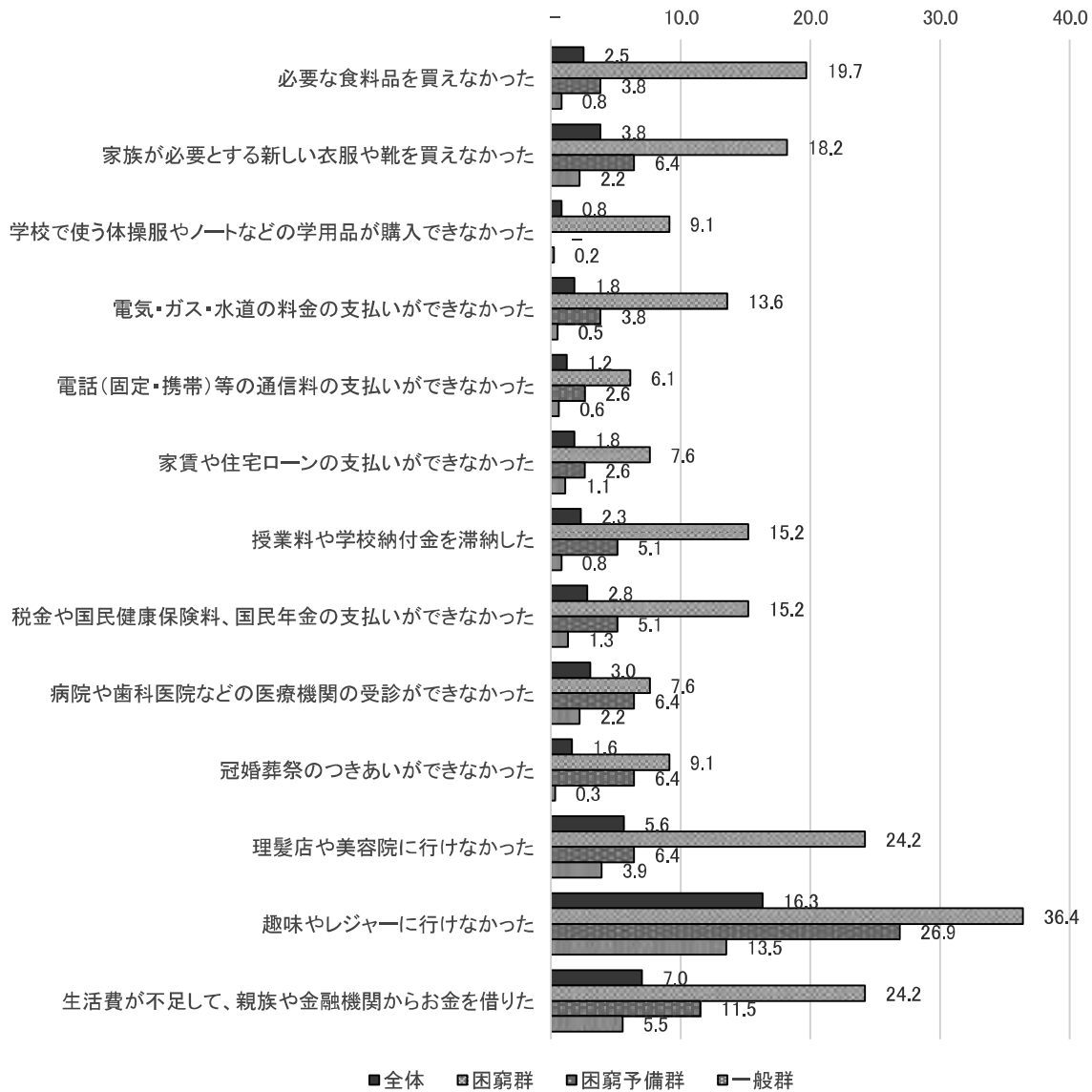


\* 「特になし」「その他」「無回答」は非表示

過去1年間に経済的理由で経験したことについて、全体では「趣味やレジャーに行けなかった」が13.3%で最も高く、次いで「理髪店や美容院に行けなかった」(6.0%)、「生活費が不足して、親族や金融機関からお金を借りた」(5.3%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、全ての選択肢で困窮度合いが高いほど回答割合も高かった。

【16～17歳 保護者】経済的理由で経験したこと（過去1年間） 「問17」

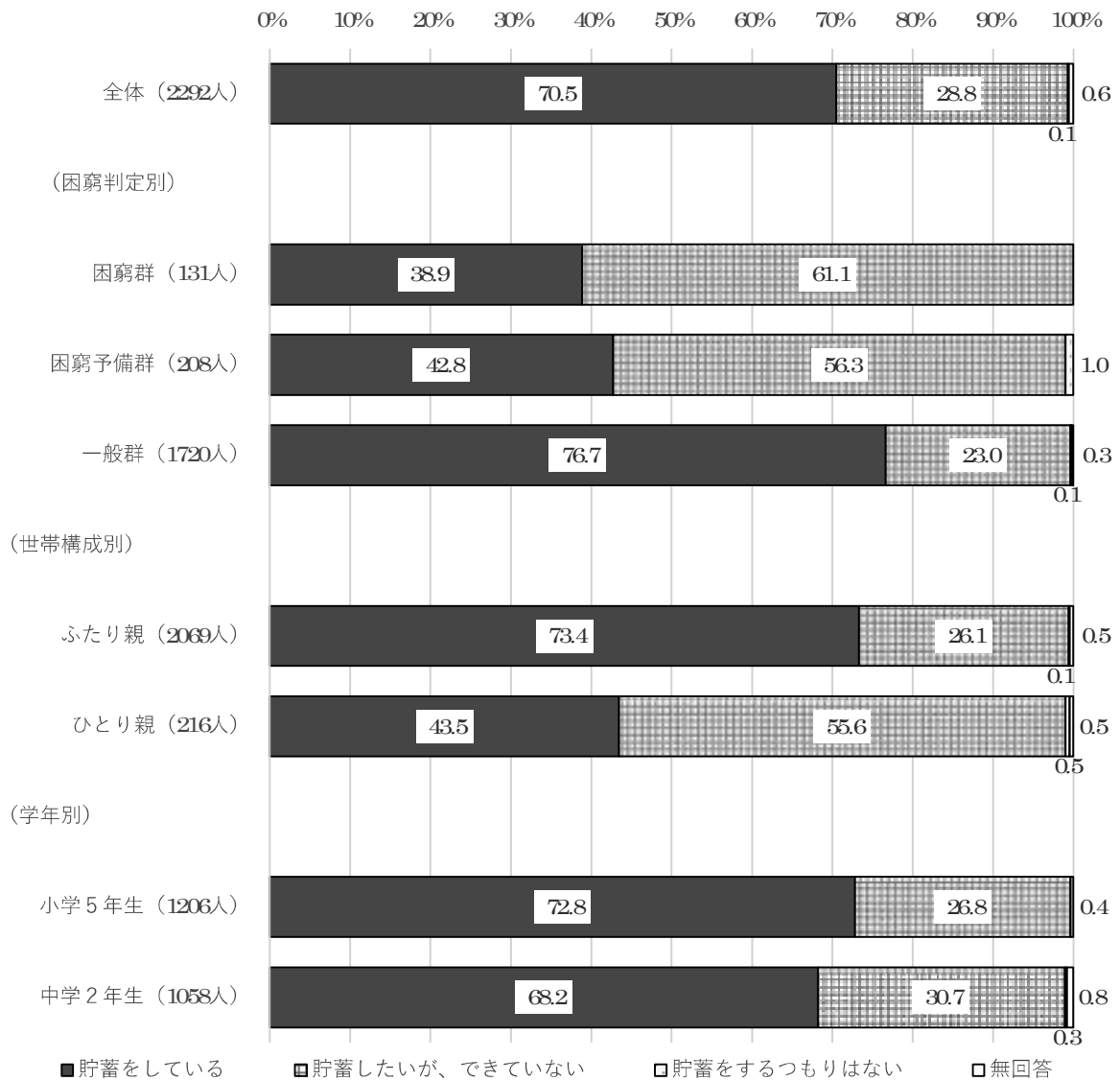


\* 「特にない」「その他」「無回答」は非表示

過去1年間に経済的理由で経験したことについて、全体では「趣味やレジャーに行けなかった」が16.3%で最も高く、次いで「生活費が不足して、親族や金融機関からお金を借りた」(7.0%)、「理髪店や美容院に行けなかった」(5.6%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、全ての選択肢で困窮度合いが高いほど回答割合も高い傾向にあった。

【小5・中2 保護者】子どもの将来のために貯蓄をしているか 「問 24」

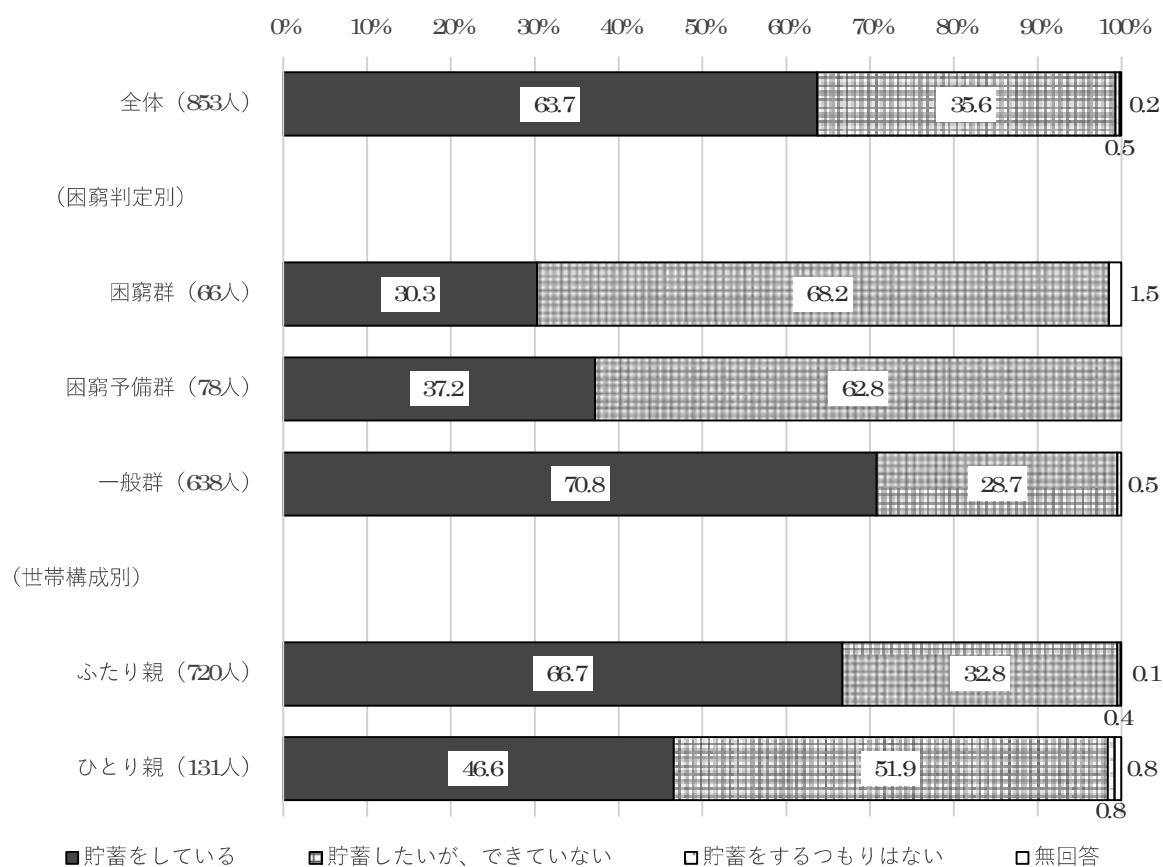


子どもの将来のために貯蓄をしているかについて、全体では「している」が70.5%を占めた。「貯蓄したいが、できていない」は28.8%で、「貯蓄するつもりはない」は0.1%にとどまった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「貯蓄したいが、できていない」が高くなり、困窮群は「貯蓄したいが、できていない」が61.1%と「貯蓄している」(38.9%)を上回った。

世帯構成別に「貯蓄したいが、できていない」をみると、ふたり親が26.1%、ひとり親が55.6%となり、ひとり親の方が29.5ポイント高かった。

【16～17歳 保護者】子どもの将来のために貯蓄をしているか 「問 24」



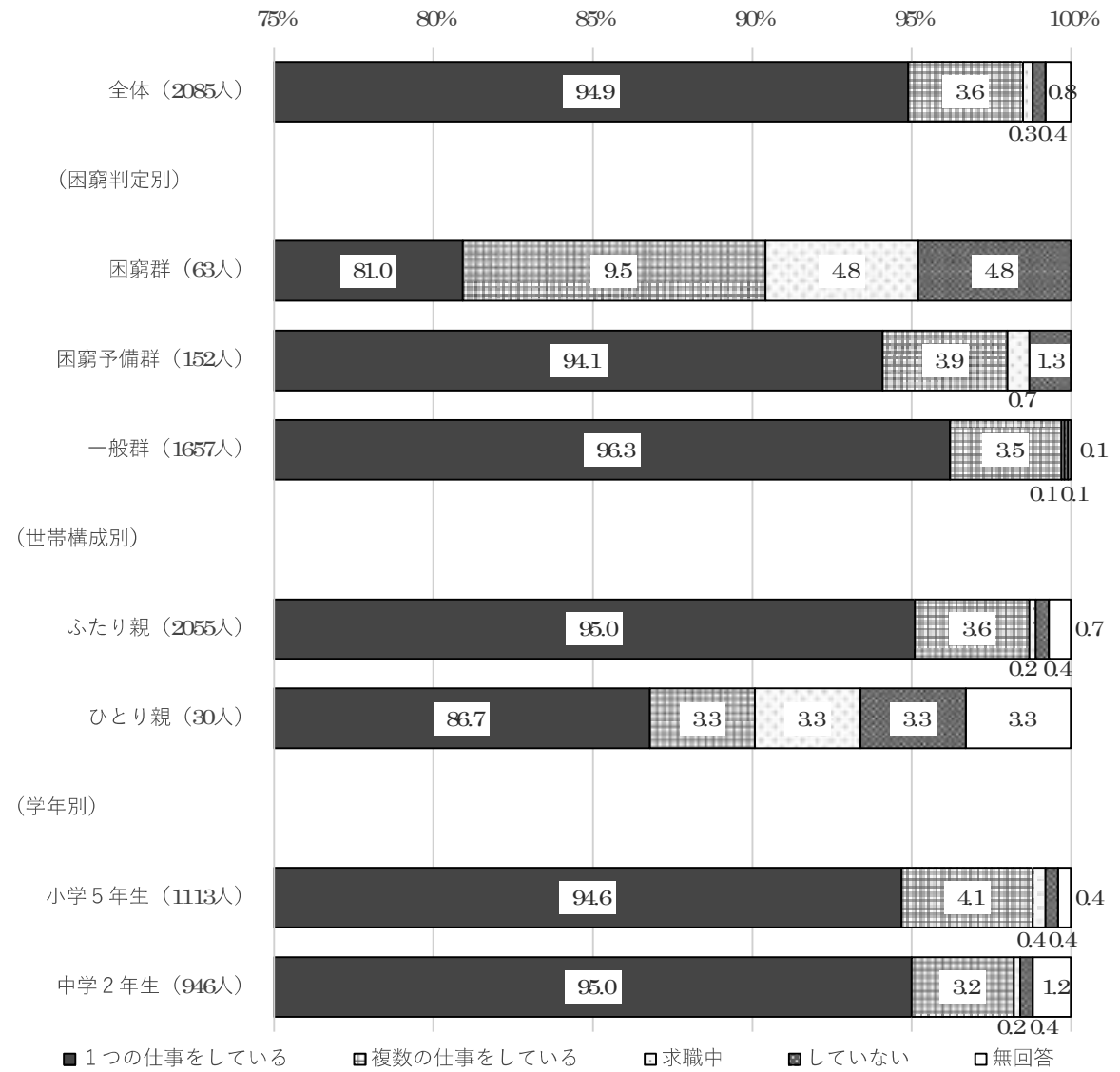
子どもの将来のために貯蓄をしているかについて、全体では「している」が63.7%を占めた。「貯蓄したいが、できていない」は35.6%で、「貯蓄するつもりはない」は0.5%にとどまった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「貯蓄したいが、できていない」が高くなり、困窮群は「貯蓄したいが、できていない」が68.2%と「貯蓄している」(30.3%)を上回った。

世帯構成別に「貯蓄したいが、できていない」をみると、ふたり親が32.8%、ひとり親が51.9%となり、ひとり親の方が19.1ポイント高かった。

②就労と子育ての両立

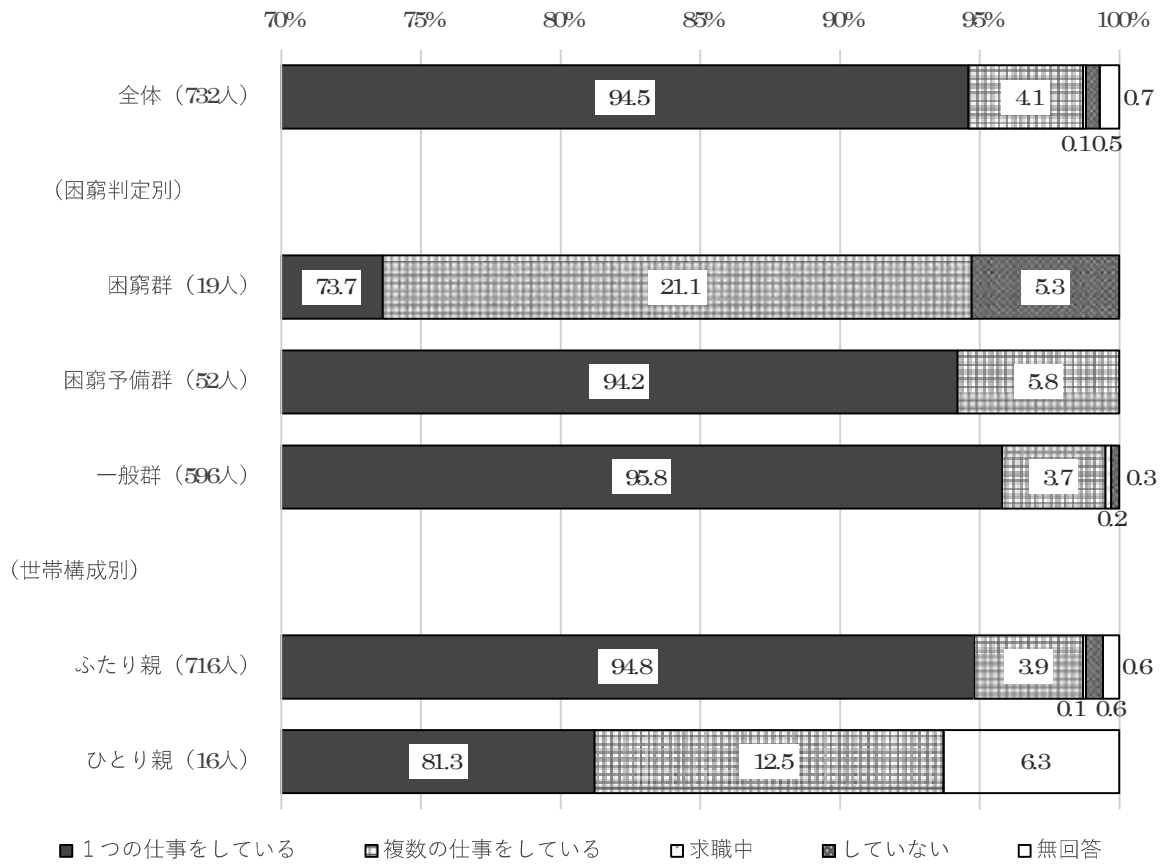
【小5・中2 保護者】保護者の就労状況（父親） 「問8」



\*目盛りの下限値を75%で調整

父親の就労状況について、全体では「1つの仕事をしている」が94.9%を占めた。  
 困窮判定別にみると、困窮群は「複数の仕事をしている」「求職中」「していない」が相対的に高かった。  
 世帯構成別にみると、ひとり親（＝父子家庭）は「休職中」が3.3%、「していない」が3.3%と相対的に高かった。

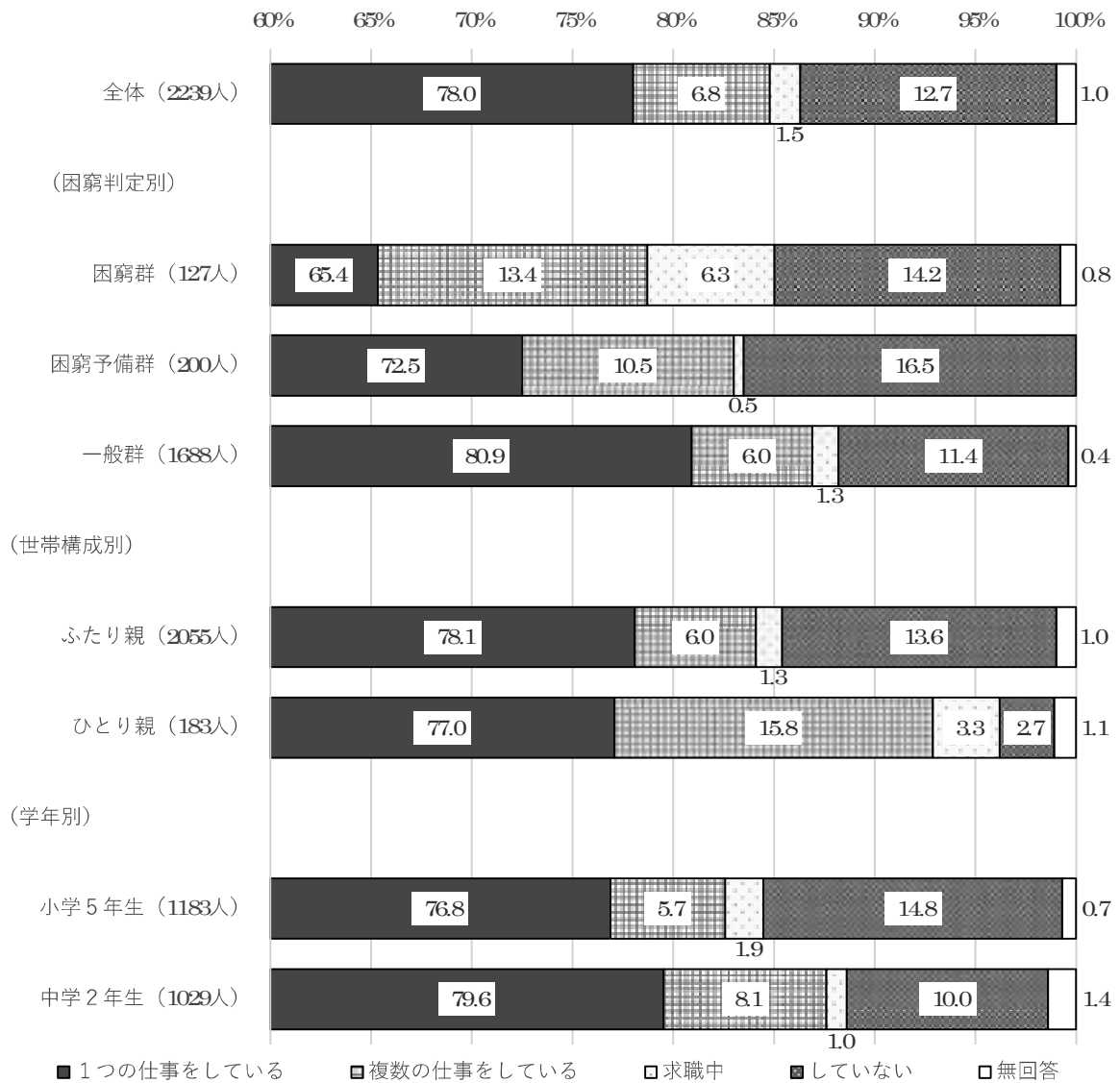
【16～17歳 保護者】保護者の就労状況（父親） 「問8」



\*目盛りの下限値を70%で調整

父親の就労状況について、全体では「1つの仕事をしている」が94.5%を占めた。  
 困窮判定別にみると、困窮群は「複数の仕事をしている」「していない」が相対的に高かった。  
 世帯構成別にみると、ひとり親（＝父子家庭）は「複数の仕事をしている」が12.5%と相対的に高かった。

【小5・中2 保護者】保護者の就労状況（母親） 「問8」



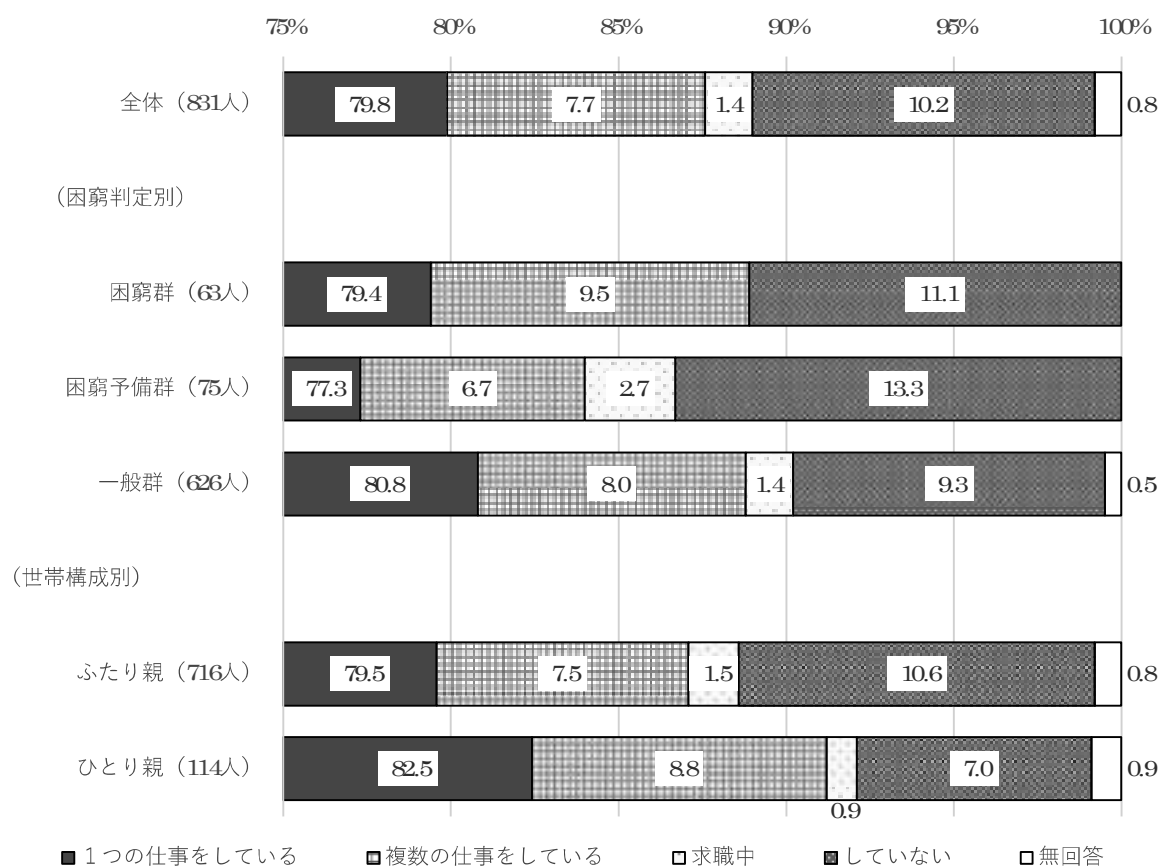
\*目盛りの下限値を60%で調整

母親の就労状況について、全体では「1つの仕事をしている」が78.0%を占めた。

困窮判定別にみると、困窮群は「複数の仕事をしている」「求職中」が相対的に高かった。

世帯構成別にみると、ひとり親 (=母子家庭) は「複数の仕事をしている」が15.8%と相対的に高く、「していない」が2.7%と相対的に低かった。

【16～17歳 保護者】保護者の就労状況（母親） 「問8」



\*目盛りの下限値を75%で調整

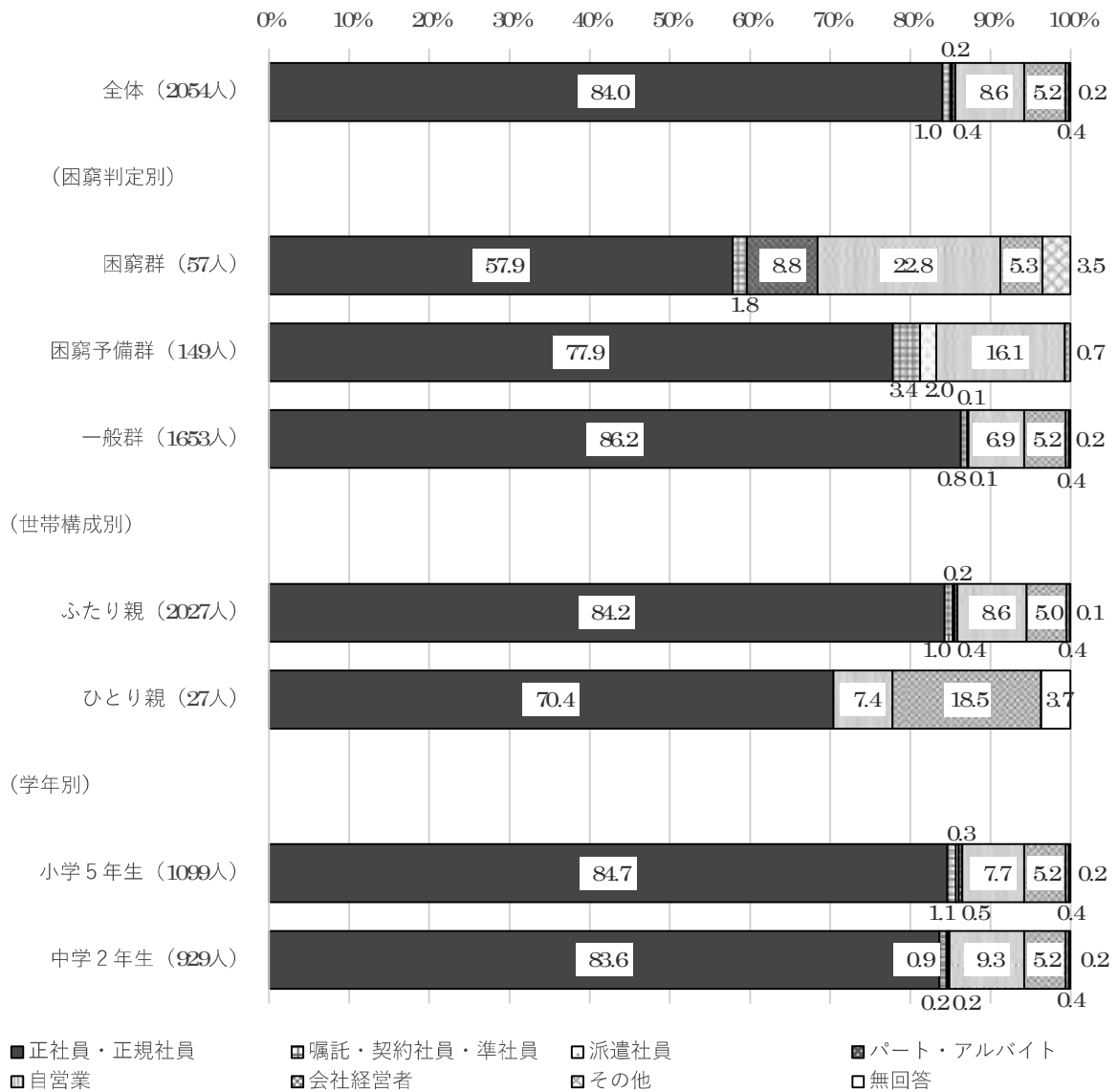
母親の就労状況について、全体では「1つの仕事をしている」が79.8%を占めた。

困窮判定別にみると、困窮群は「複数の仕事をしている」、困窮予備群は「していない」が相対的に高かった。

世帯構成別にみると、ひとり親(=母子家庭)は「1つの仕事をしている」(82.5%)と「複数の仕事をしている」(8.8%)を合わせた『仕事をしている』が91.3%と相対的に高かった。



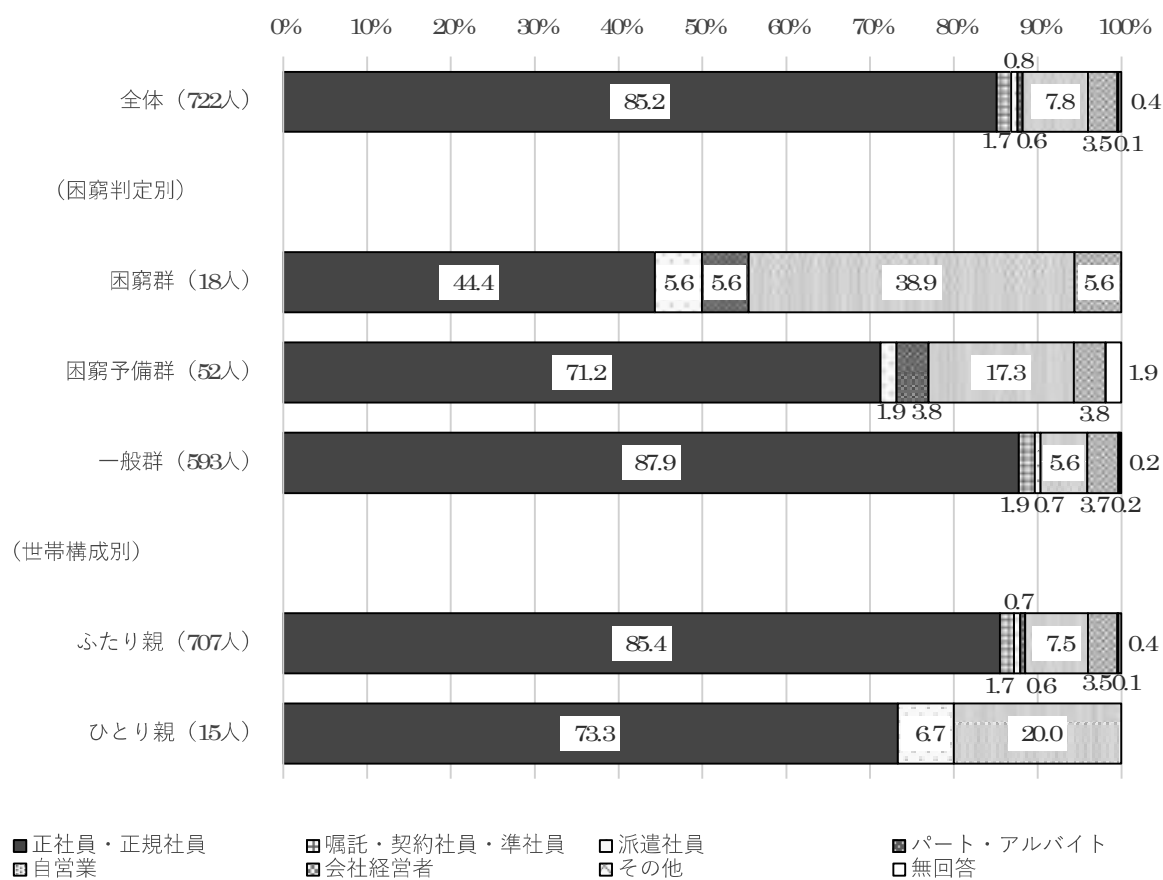
【小5・中2 保護者】保護者の雇用形態（父親） 「問9」



父親の雇用形態について、全体では「正社員」が84.0%を占め、「非正規」は1.6%にとどまった。困窮判定別にみると、困窮群は「正社員」が57.9%と低く、「非正規」「自営業」が相対的に高かった。世帯構成別にみると、ひとり親（=父子家庭）は「会社経営者」が相対的に高かった。

\* 「非正規」は、設問の選択肢「嘱託・契約社員・準社員」「派遣社員」「パート・アルバイト」を合算

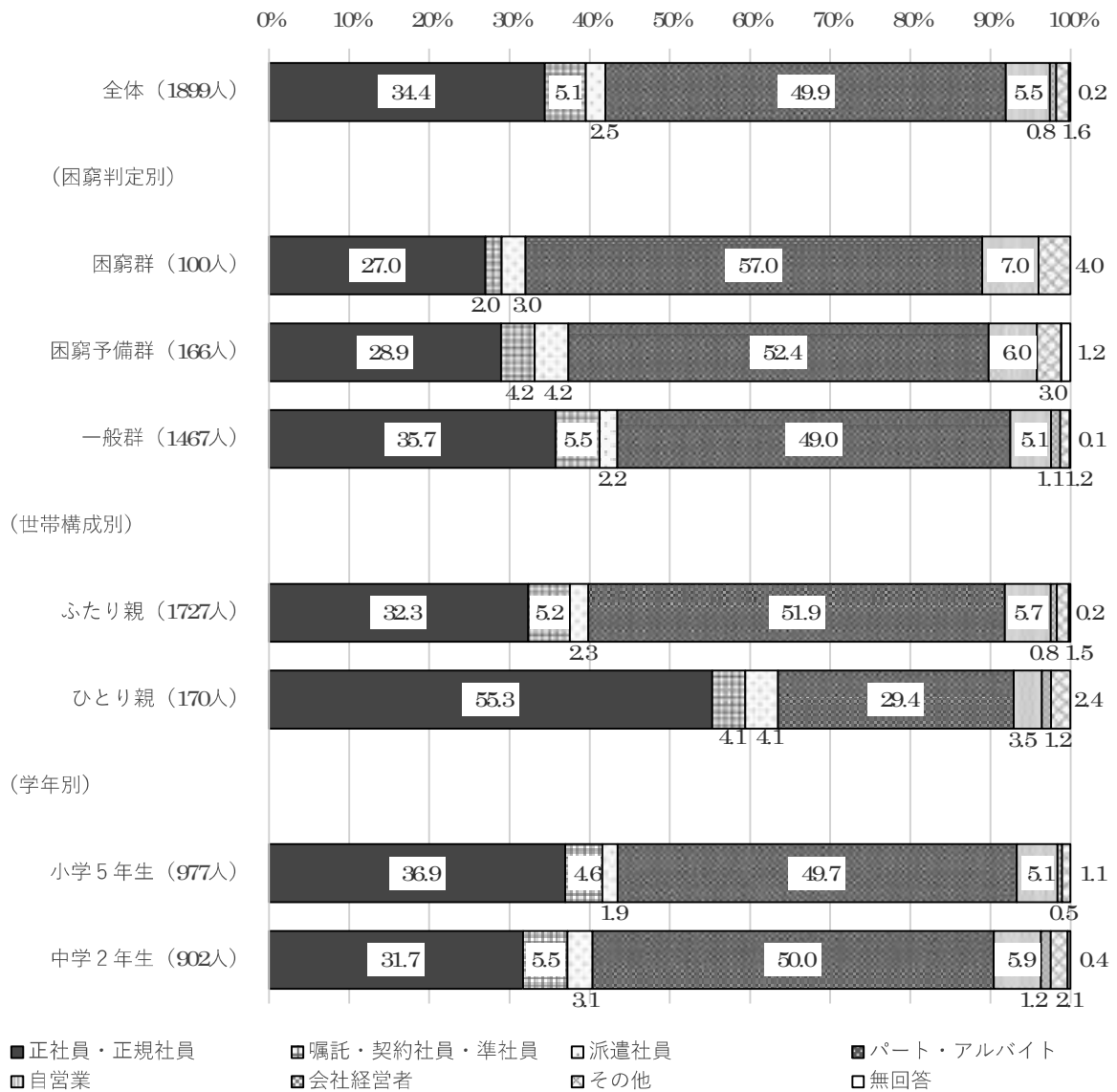
【16～17歳 保護者】保護者の雇用形態（父親） 「問9」



父親の雇用形態について、全体では「正社員」が85.2%を占め、「非正規」は3.1%にとどまった。困窮判定別にみると、困窮群は「正社員」が44.4%と低く、「非正規」「自営業」が相対的に高かった。世帯構成別にみると、ひとり親（＝父子家庭）は「非正規」「自営業」が相対的に高かった。

\* 「非正規」は、設問の選択肢「嘱託・契約社員・準社員」「派遣社員」「パート・アルバイト」を合算

【小5・中2 保護者】保護者の雇用形態（母親） 「問9」

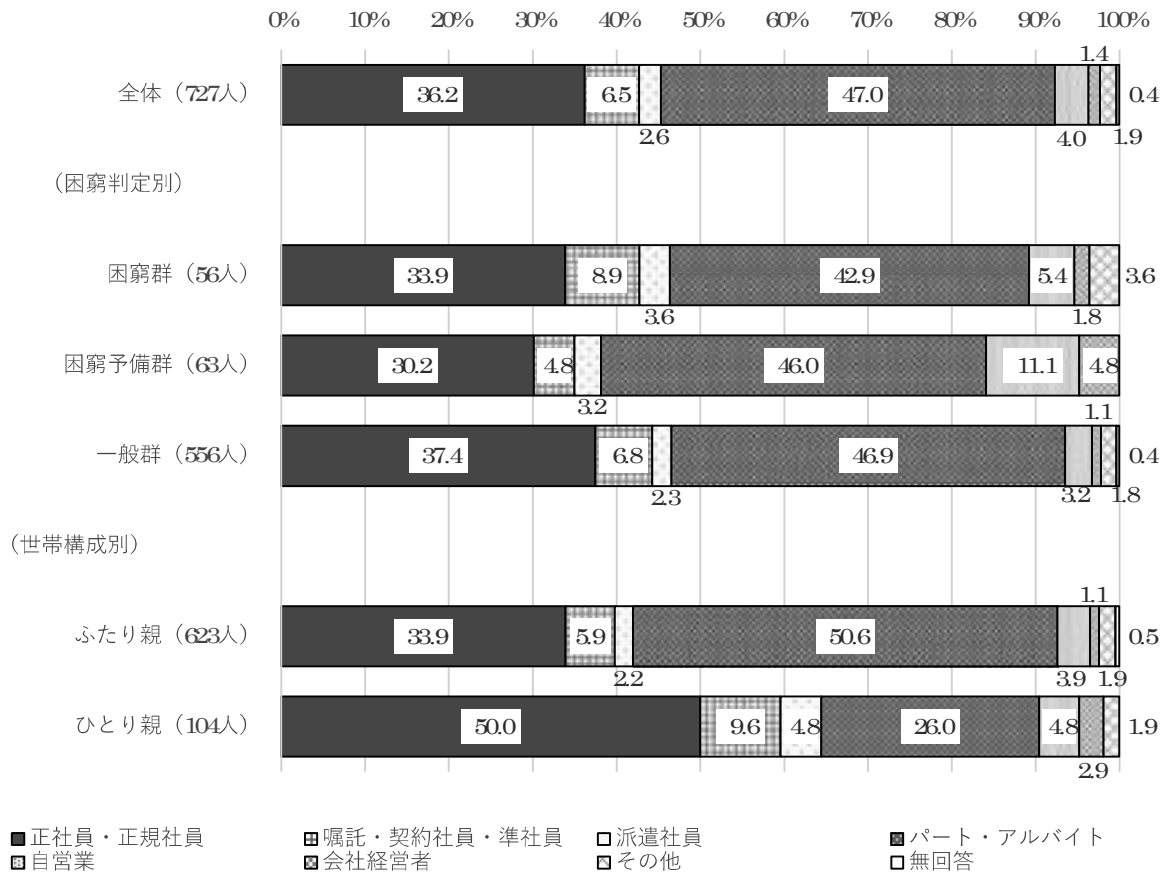


母親の雇用形態について、全体では「非正規」が57.5%と半数を占め、「正社員」は34.4%にとどまった。

困窮判定別にみると、困窮群は「正社員」が27.0%と低く、「非正規」が62.0%と相対的に高かった。世帯構成別にみると、ひとり親(=母子家庭)は「正社員」が55.3%とふたり親と比較して高かった。

\* 「非正規」は、設問の選択肢「嘱託・契約社員・準社員」「派遣社員」「パート・アルバイト」を合算

【16～17歳 保護者】保護者の雇用形態（母親） 「問9」



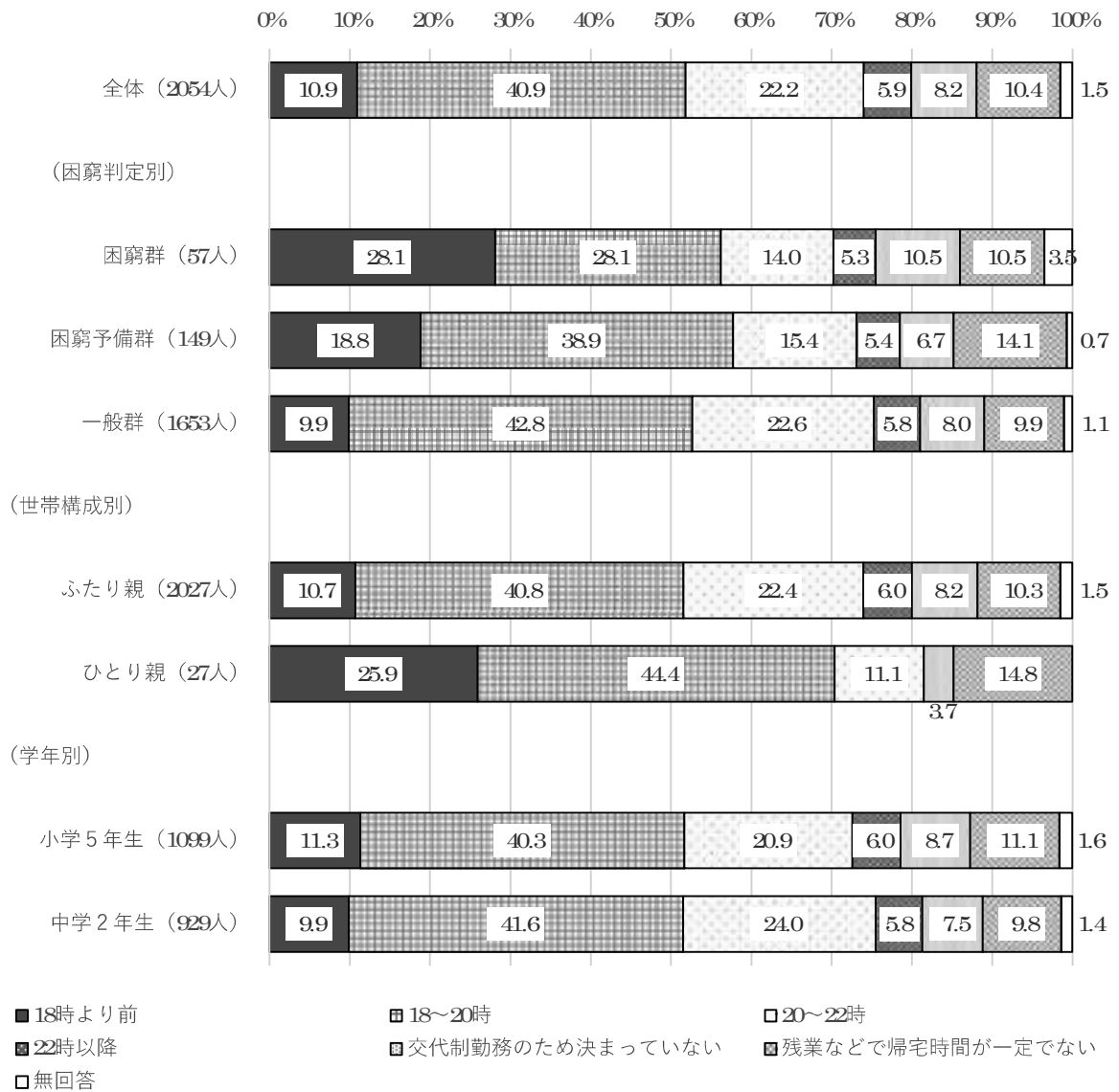
母親の雇用形態について、全体では「非正規」が56.1%と半数を占め、「正社員」は36.2%にとどまった。

困窮判定別にみると、困窮群は「正社員」が33.9%、困窮予備群は30.2%と低く、「自営業」が相対的に高かった。

世帯構成別にみると、ひとり親（＝母子家庭）は「正社員」が50.0%と相対的に高かった。

\* 「非正規」は、設問の選択肢「嘱託・契約社員・準社員」「派遣社員」「パート・アルバイト」を合算

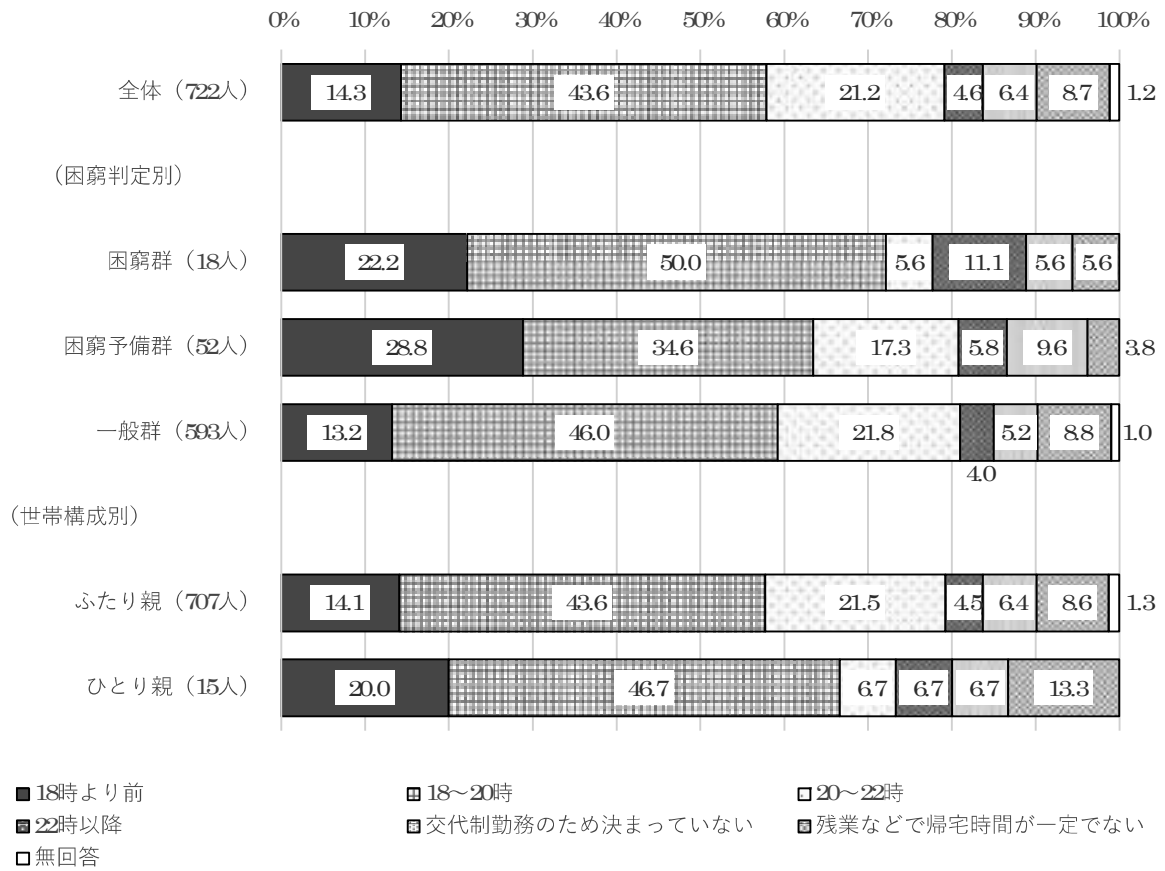
【小5・中2 保護者】保護者の帰宅時間（父親） 「問 10」



働いている父親の帰宅時間について、全体では「18～20時」が40.9%で最も高く、次いで「20～22時」(22.2%)が高かった。『20時まで』は51.8%だった。

世帯構成別にみると、ひとり親家庭(=父子家庭)は、「18時より前」の25.9%と「18～20時」の44.4%を合わせた『20時まで』が70.3%とふたり親(51.5%)より18.8ポイント多く、帰宅時間が早くなる傾向がみられた。

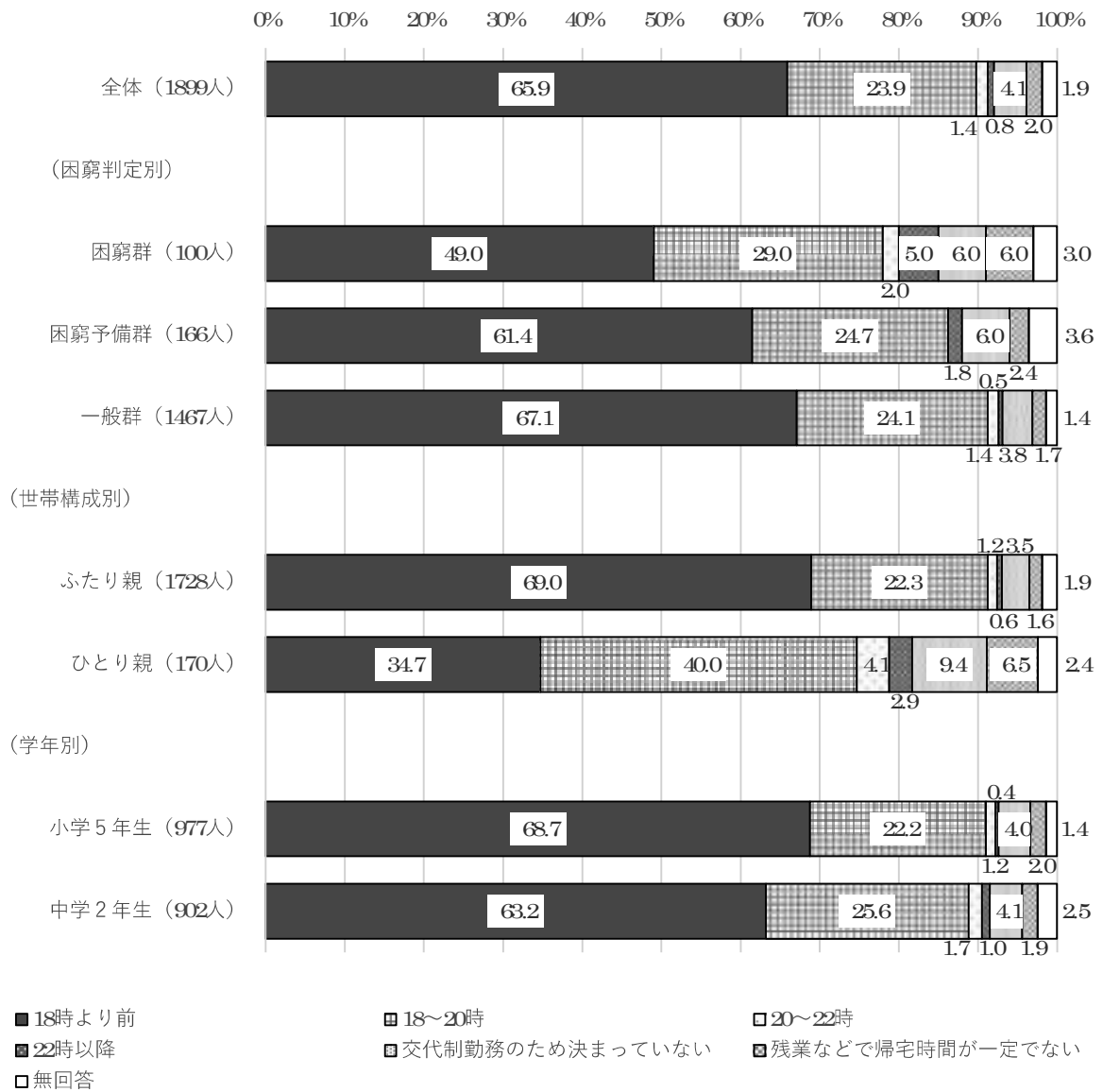
【16～17歳 保護者】保護者の帰宅時間（父親） 「問 10」



働いている父親の帰宅時間について、全体では「18～20時」が43.6%で最も高く、次いで「20～22時」(21.2%)が高かった。『20時まで』は57.9%だった。

世帯構成別にみると、ひとり親家庭(=父子家庭)は、「18時より前」の20.0%と「18～20時」の46.7%を合わせた『20時まで』が66.7%とふたり親(57.7%)より9.0ポイント多く、帰宅時間が早くなる傾向がみられた。

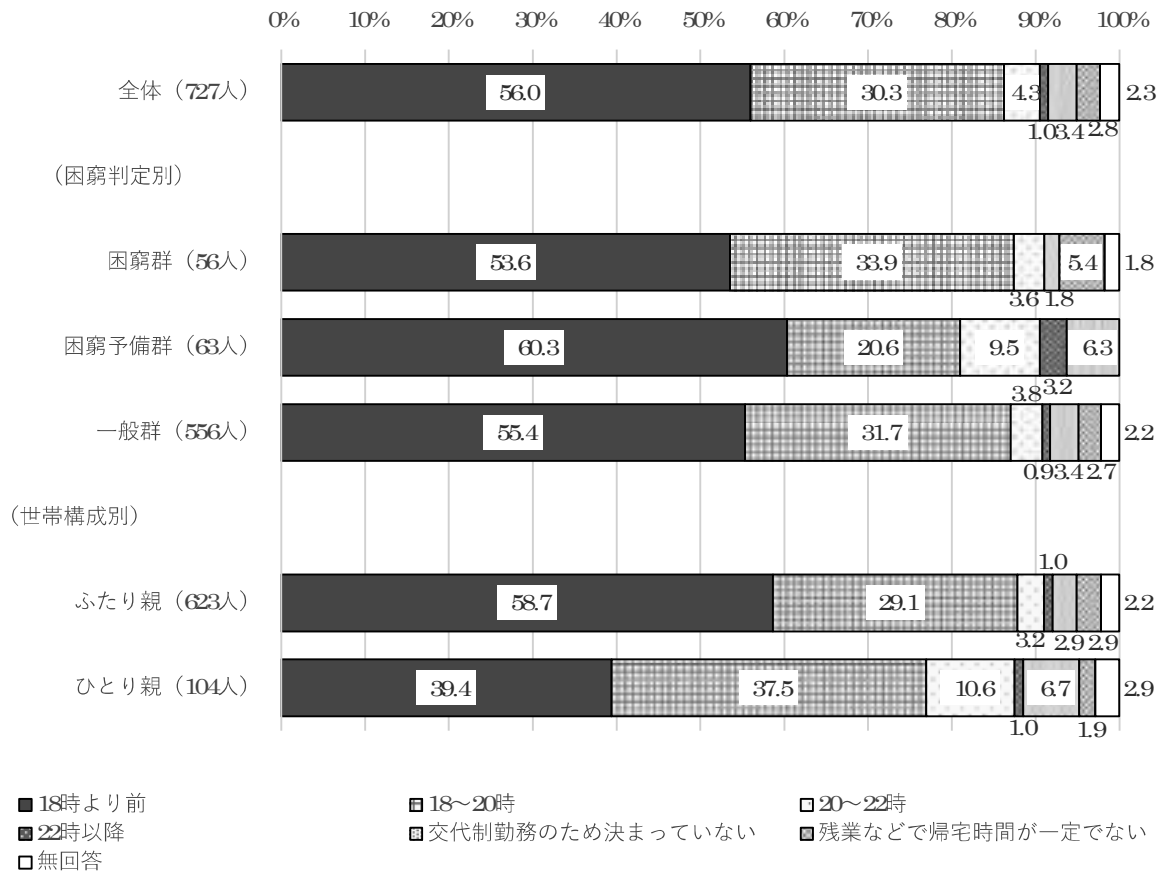
【小5・中2 保護者】保護者の帰宅時間（母親） 「問 10」



働いている母親の帰宅時間について、全体では「18時より前」が65.9%で最も高く、次いで「18～20時」(23.9%)が高かった。『20時まで』は89.8%だった。

世帯構成別にみると、ひとり親家庭(=母子家庭)は、「18時より前」が34.7%とふたり親(69.0%)より34.3ポイント少なく、帰宅時間が遅くなる傾向がみられた。

【16～17歳 保護者】保護者の帰宅時間（母親） 「問10」



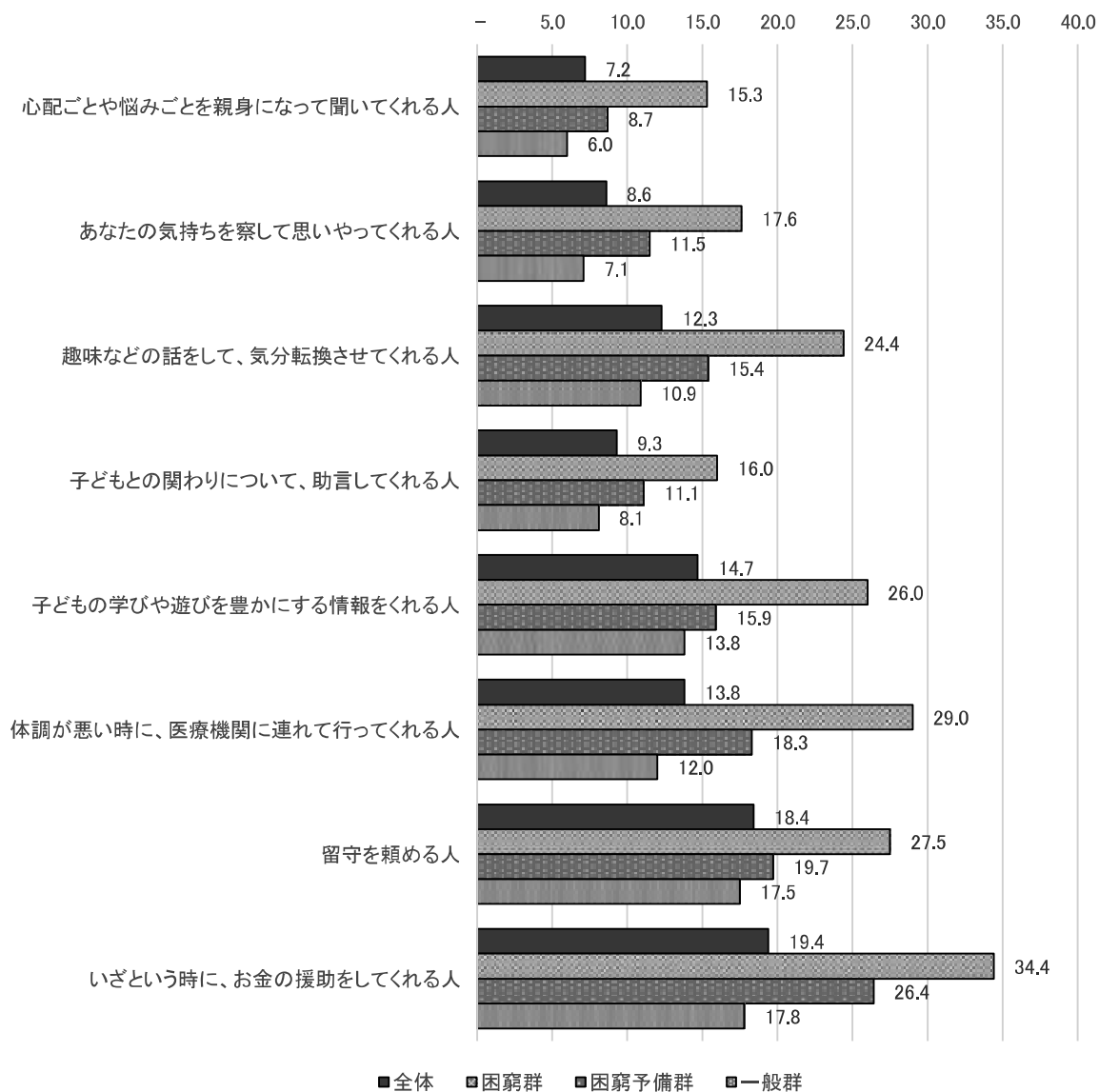
働いている母親の帰宅時間について、全体では「18時より前」が56.0%で最も高く、次いで「18～20時」(30.3%)が高かった。『20時まで』は86.3%だった。

世帯構成別にみると、ひとり親家庭(=母子家庭)は、「18時より前」が39.4%とふたり親(58.7%)より19.3ポイント少なく、帰宅時間が遅くなる傾向がみられた。



③保護者の孤立・悩み

【小5・中2 保護者】相談相手等について（相手がいない割合） 「問 27」

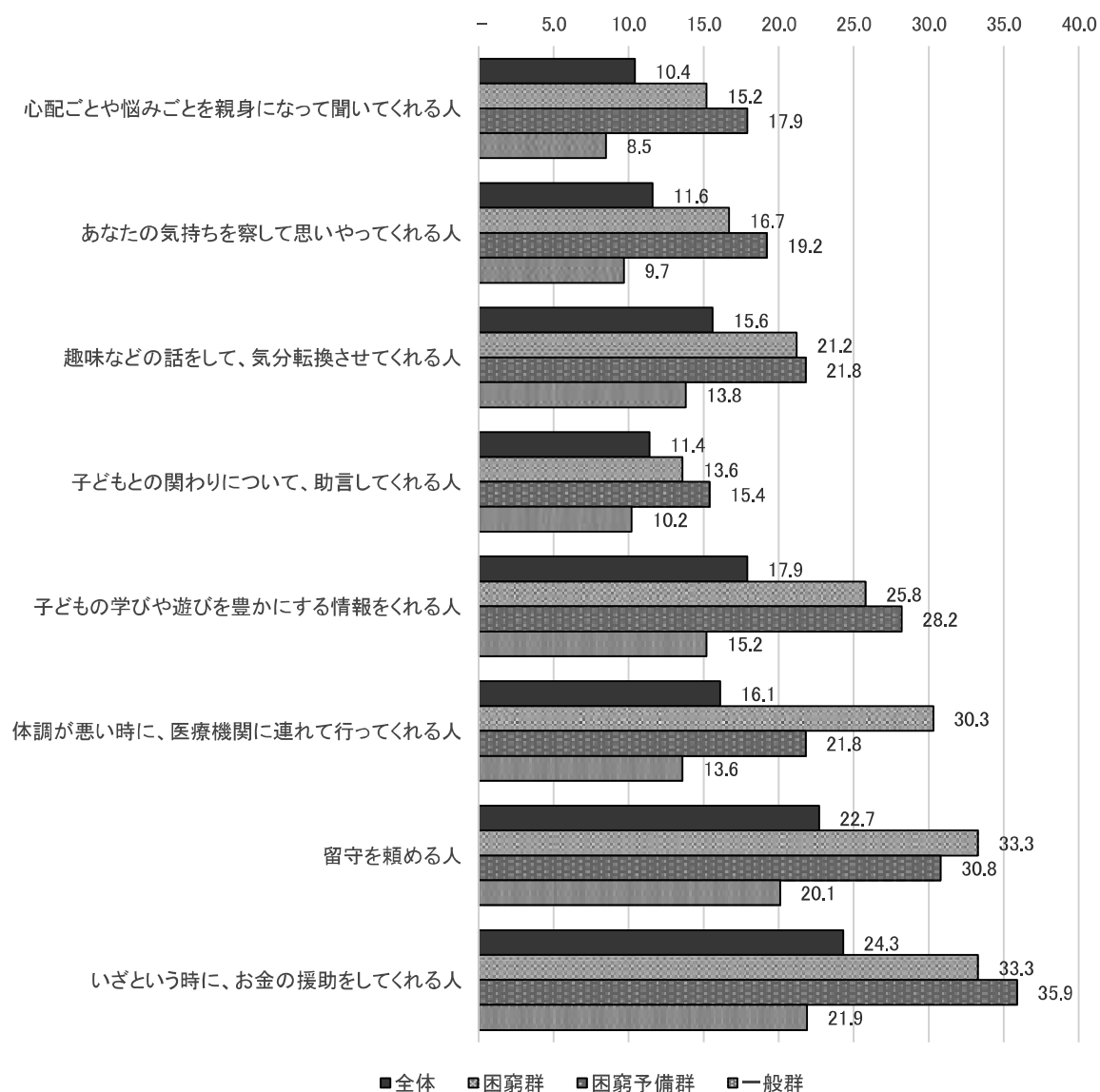


\* 「無回答」は非表示

相談相手等がないことについて、全体では「いざという時に、お金の援助をしてくれる人」が19.4%で最も高く、次いで「留守を頼める人」(18.4%)、「子どもの学びや遊びを豊かにする情報をくれる人」(14.7%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、全ての選択肢で困窮度合いが高いほど回答割合も高かった。困窮群は「いざという時に、お金の援助をしてくれる人」が34.4%で最も高かった。

【16～17歳 保護者】相談相手等について（相手がいない割合） 「問 27」

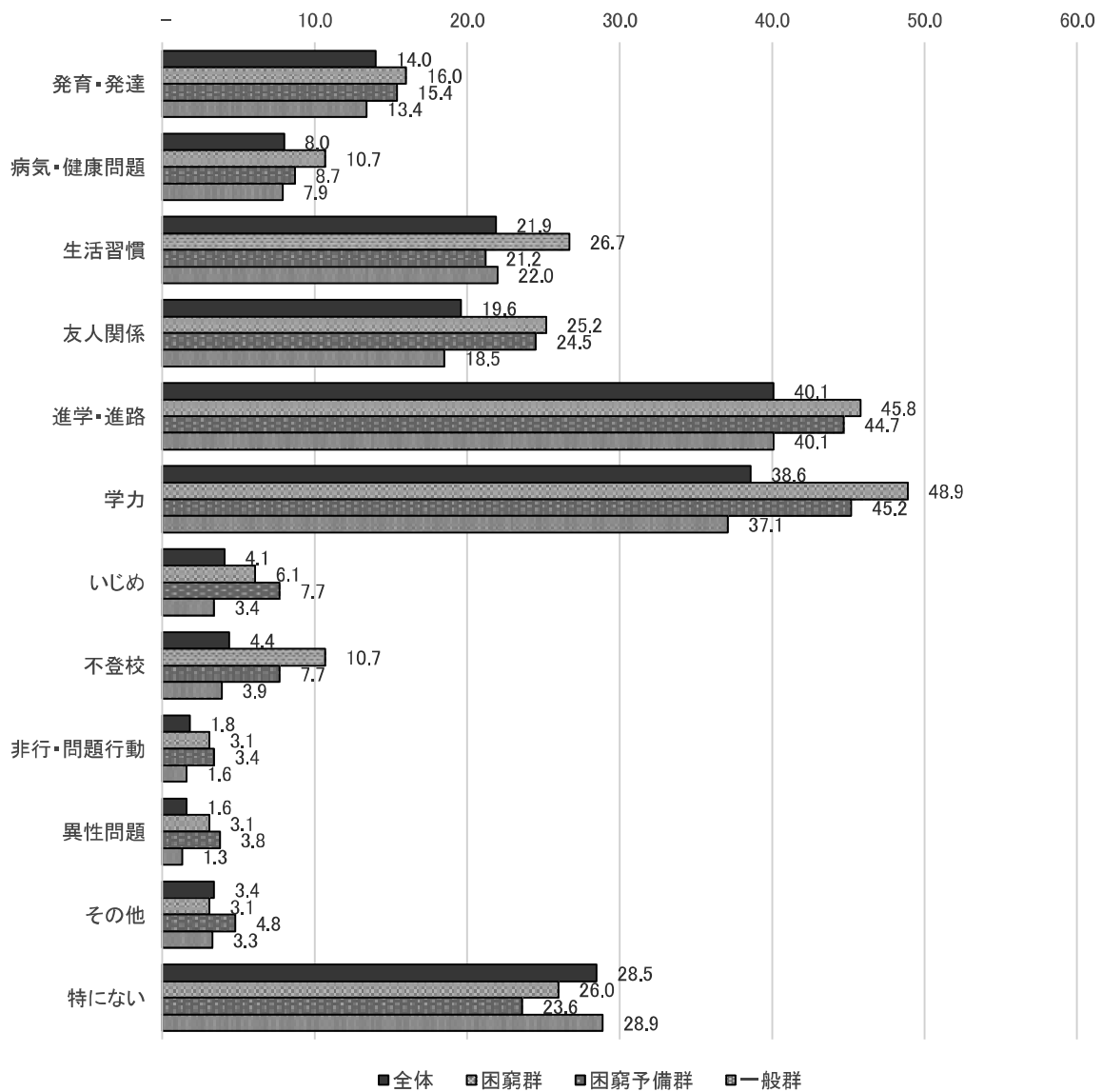


\* 「無回答」は非表示

相談相手等がないことについて、全体では「いざという時に、お金の援助をしてくれる人」が 24.3% で最も高く、次いで「留守を頼める人」(22.7%)、「子どもの学びや遊びを豊かにする情報をくれる人」(17.9%) の順に高かった。

困窮判定別にみると、困窮群では 2 つの選択肢、困窮予備群では 6 つの選択肢が最も回答割合が高かった。困窮群は「留守を頼める人」と「いざという時に、お金の援助をしてくれる人」が 33.3% で最も高く、困窮予備群では「いざという時に、お金の援助をしてくれる人」が 35.9% で最も高かった。

【小5・中2 保護者】子どもに関する悩み 「問 25」

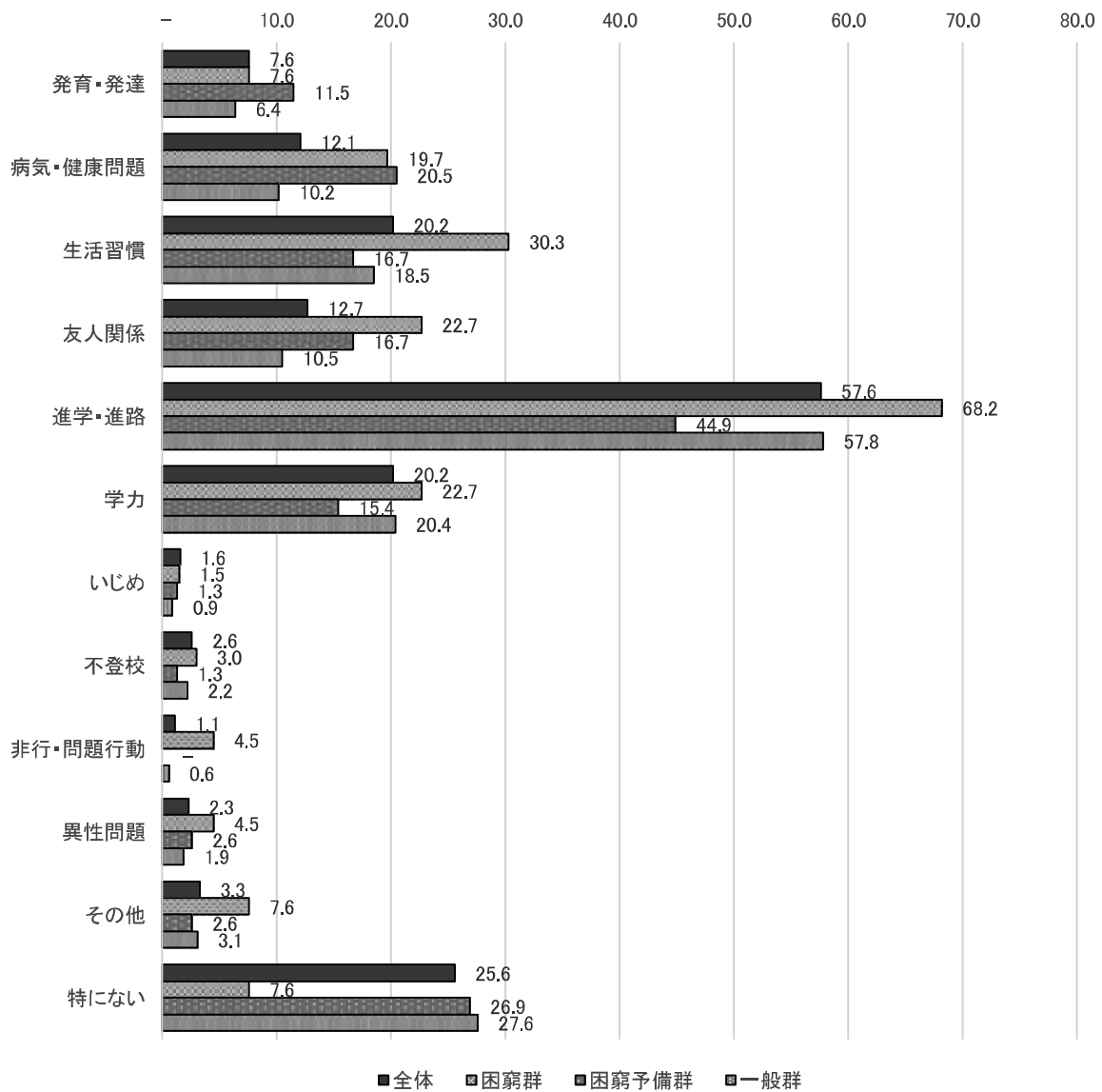


\* 「無回答」は非表示

保護者の子どもに関する悩みについて、全体では「進学・進路」が40.1%で最も高く、次いで「学力」(38.6%)、「特にない」(28.5%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「特にない」以外の選択肢の回答割合が概ね高くなっている。困窮群と一般群を比較すると、「学力」は困窮群の方が10ポイント以上高かった。

【16～17歳 保護者】子どもに関する悩み 「問 25」

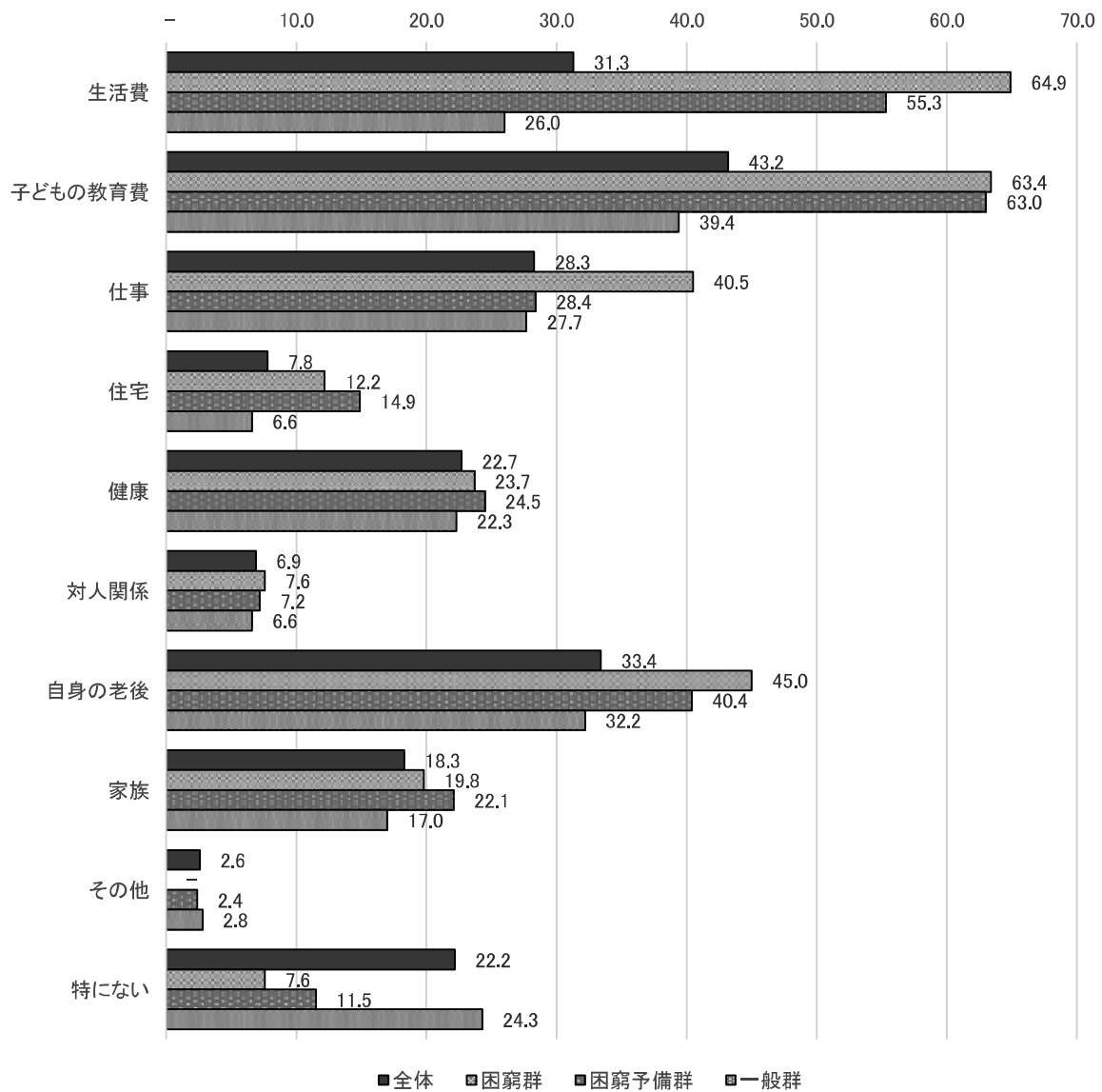


\* 「無回答」は非表示

保護者の子どもに関する悩みについて、全体では「進学・進路」が 57.6%で最も高く、次いで「特にない」(25.6%)、「学力」(20.2%) の順に高かった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「特にない」が低くなり、他の選択肢の回答割合が概ね高くなっている。困窮群と一般群を比較すると、「生活習慣」「友人関係」「進学・進路」は困窮群の方が 10 ポイント以上高かった。

【小5・中2 保護者】保護者自身の悩み 「問 26」

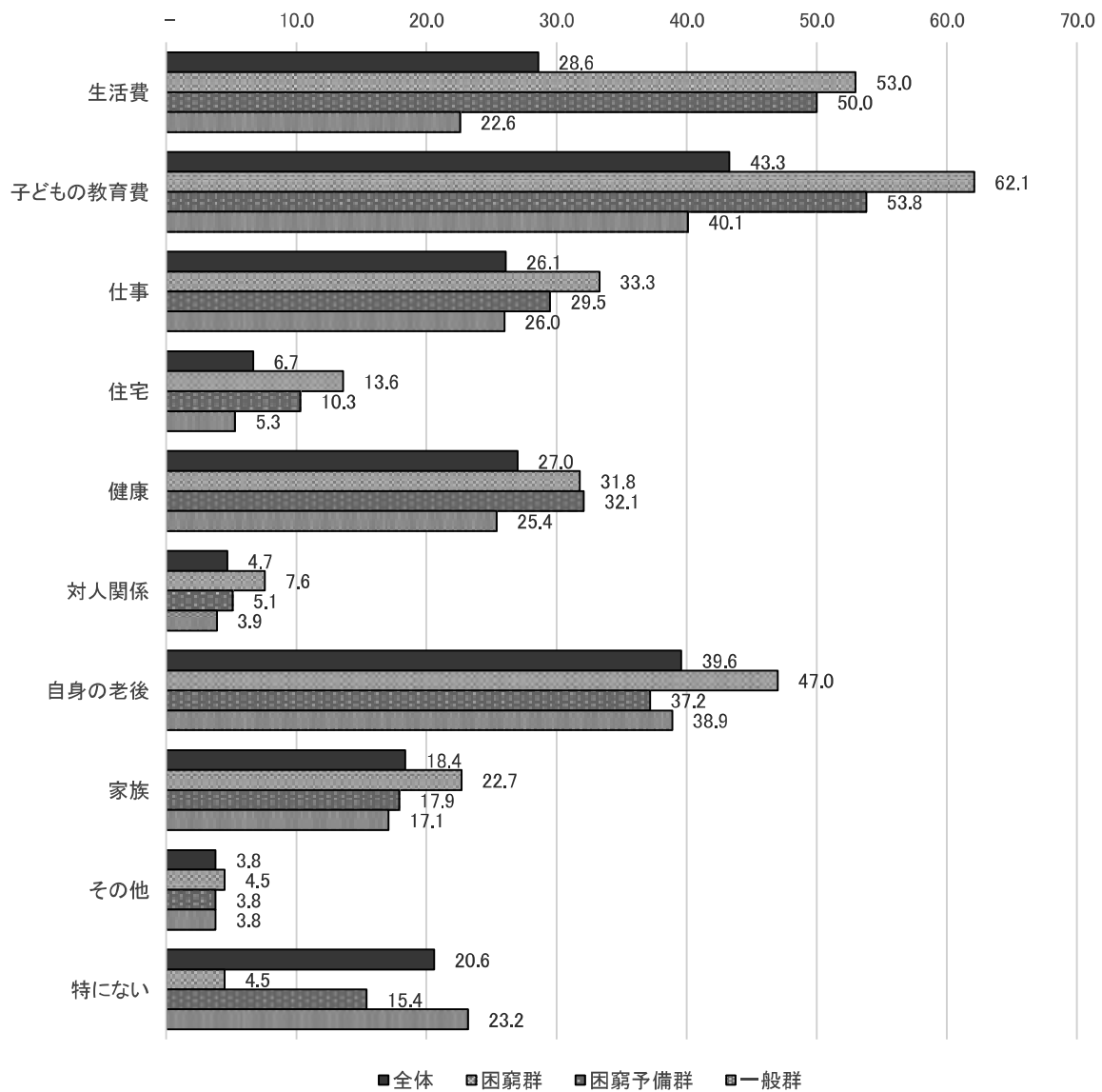


\* 「無回答」は非表示

保護者自身の悩みについて、全体では「子どもの教育費」が43.2%で最も高く、次いで「自身の老後」(33.4%)、「生活費」(31.3%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「特にない」が低くなり、他の選択肢の回答割合が概ね高くなっている。困窮群と一般群を比較すると、「生活費」「子どもの教育費」「仕事」「自身の老後」は困窮群の方が10ポイント以上高く、特に「生活費」は38.9ポイント、「子どもの教育費」は24.0ポイント高かった。

【16～17歳 保護者】保護者自身の悩み 「問 26」



\* 「無回答」は非表示

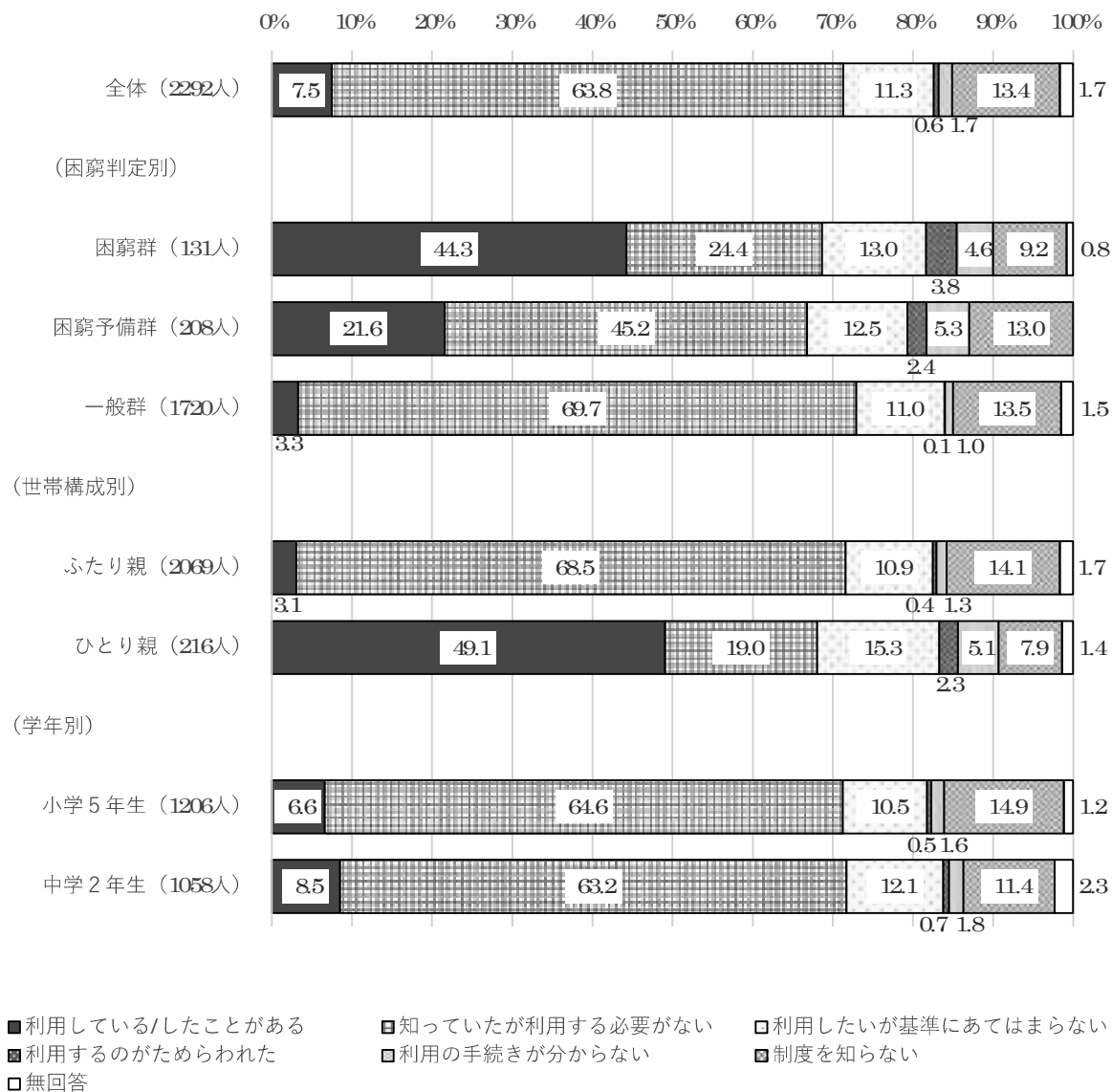
保護者自身の悩みについて、全体では「子どもの教育費」が43.3%で最も高く、次いで「自身の老後」(39.6%)、「生活費」(28.6%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「特にない」が低くなり、他の選択肢の回答割合が概ね高くなっている。困窮群と一般群を比較すると、困窮群の方が「生活費」は30.4ポイント、「子どもの教育費」は22.0ポイント高かった。

### (3) 各種支援・サービスの活用・認知状況

#### ①保護者の事業利用状況

#### 【小5・中2 保護者】就学援助の利用 「問 29-a」

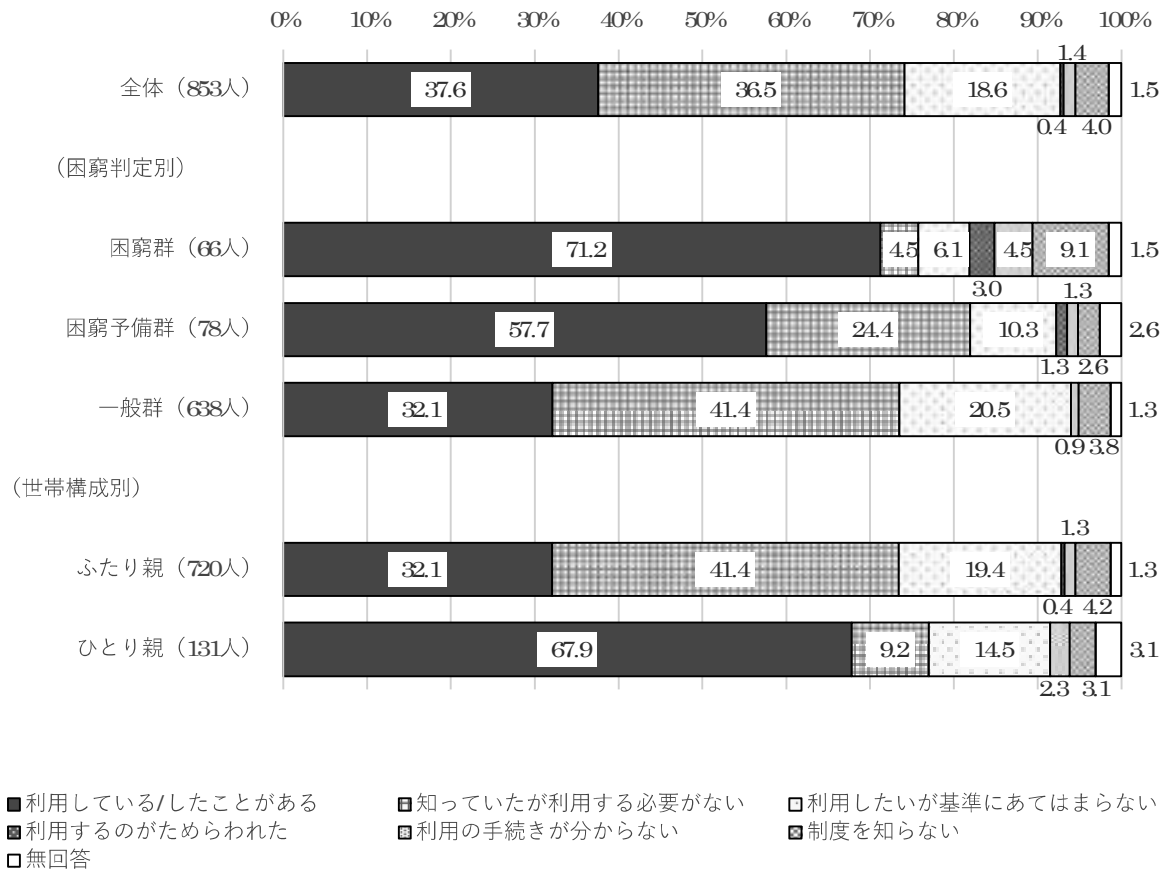


就学援助の利用について、全体では「知っていたが利用する必要がない」が63.8%で最も高く、「利用している/したことがある」は7.5%だった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「利用している/したことがある」が高くなり、困窮群は「利用している/したことがある」が44.3%となった。困窮群は「利用の手続きが分からない」は4.6%、「制度を知らない」は9.2%あった。

世帯構成別にみると、ひとり親は「利用している/したことがある」が49.1%と高かった。

【16～17歳 保護者】高校生等への修学支援の利用 「問 29-a」



高校生等への修学支援の利用について、全体では「利用している/したことがある」が 37.6%で最も高く、次いで「知っていたが利用する必要がある」(36.5%) だった。

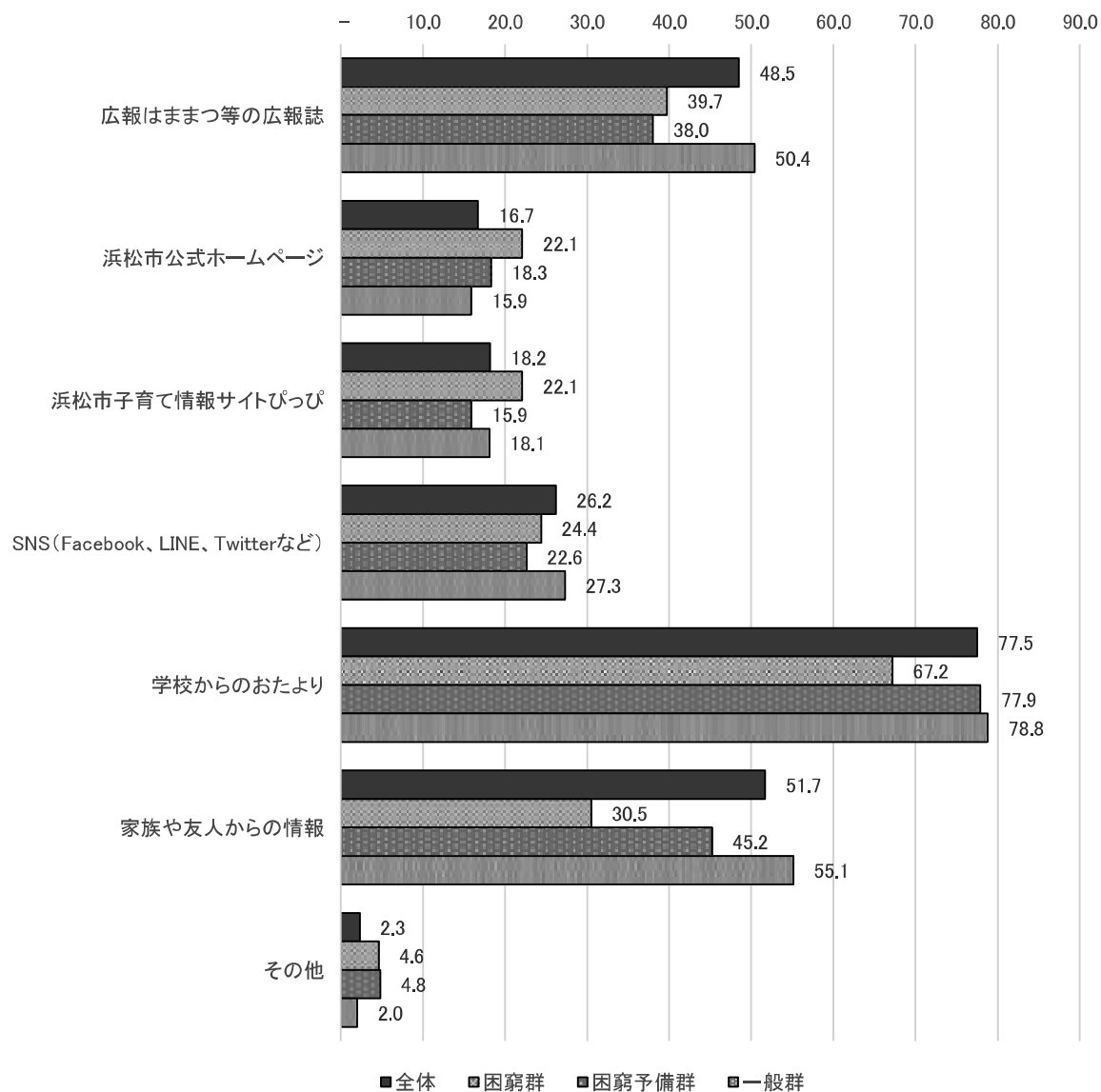
困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「利用している/したことがある」が高くなり、困窮群は「利用している/したことがある」が 71.2%となった。困窮群は「利用の手続きが分からない」は 4.5%、「制度を知らない」は 9.1%あった。

世帯構成別にみると、ひとり親は「利用している/したことがある」が 67.9%と高かった。



②情報収集の現状と今後のニーズ

【小5・中2 保護者】情報入手方法の現状 「問 28-a」

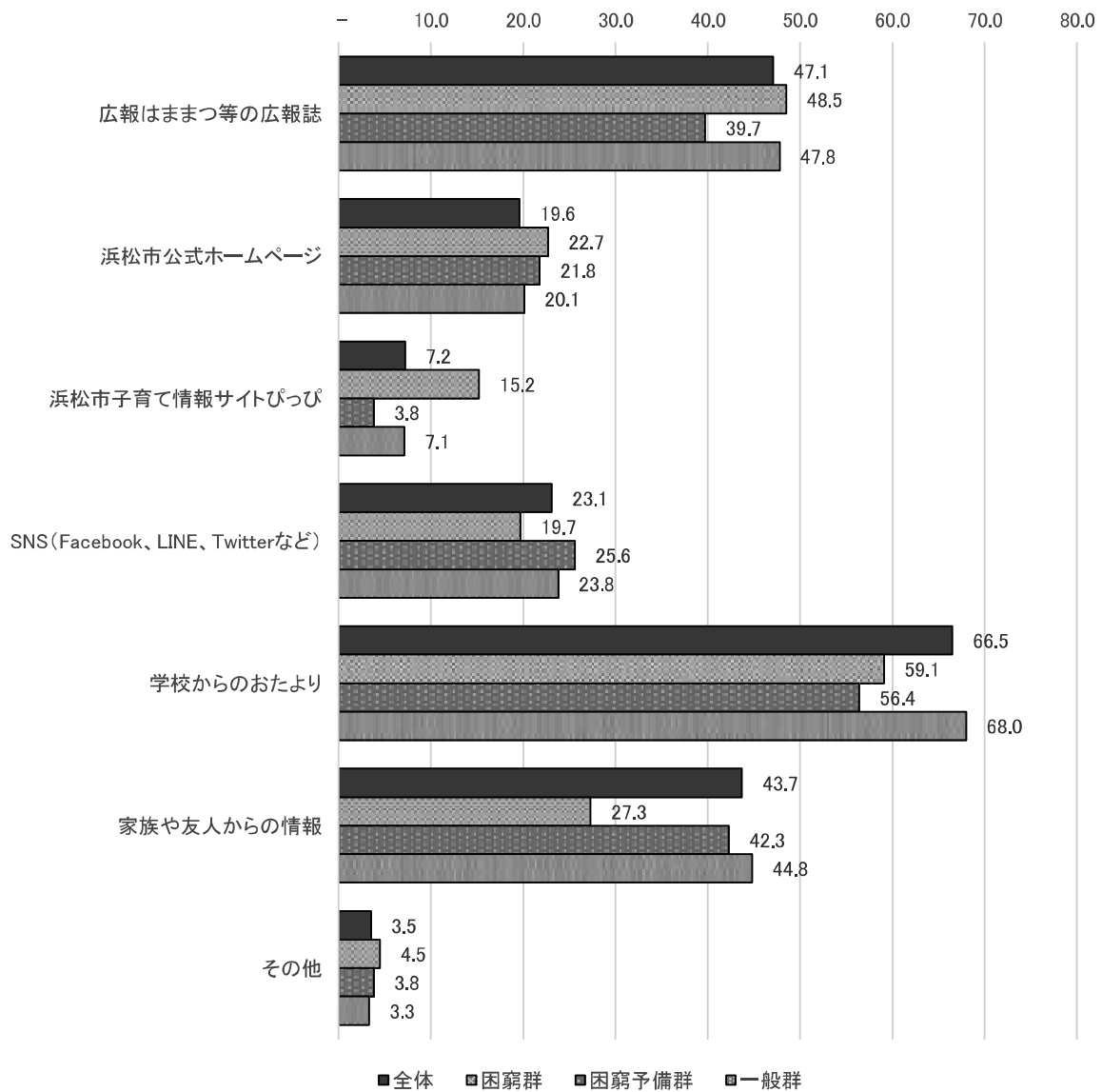


\* 「無回答」は非表示

子育て支援策等の現状の情報入手方法について、全体では「学校からのおたより」が77.5%で最も高く、次いで「家族や友人からの情報」(51.7%)、「広報はままつ等の広報誌」(48.5%)の順に高かった。

困窮群は、「学校からのおたより」「広報はままつ等の広報誌」「家族や友人からの情報」の順に高かった。

【16～17歳 保護者】情報入手方法の現状 「問 28-a」

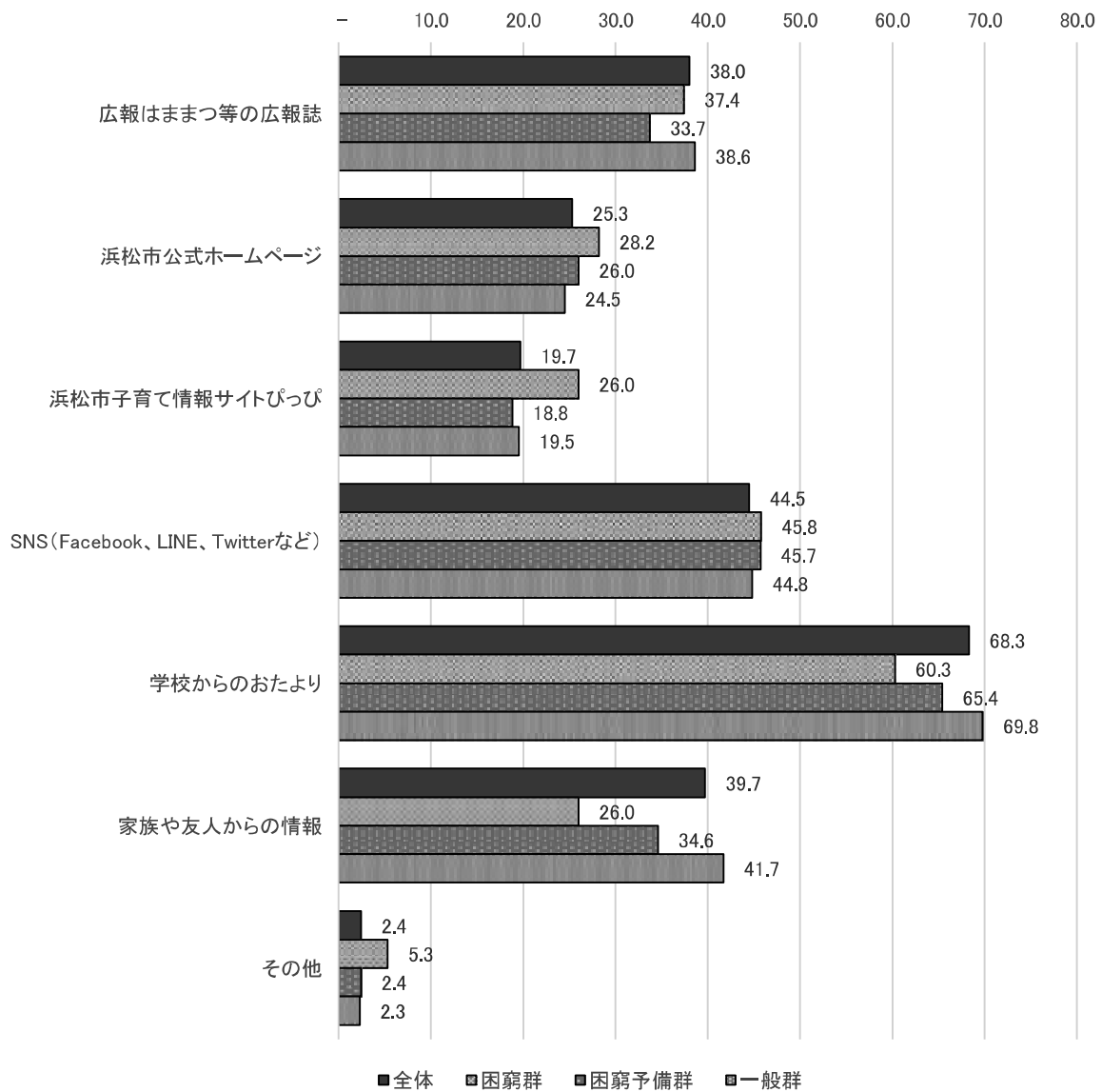


\* 「無回答」は非表示

子育て支援策等の現状の情報入手方法について、全体では「学校からのおたより」が 66.5%で最も高く、次いで「広報はままつ等の広報誌」(47.1%)、「家族や友人からの情報」(43.7%)の順に高かった。

困窮群も全体同様、「学校からのおたより」「広報はままつ等の広報誌」「家族や友人からの情報」の順に高かった。

【小5・中2 保護者】今後希望する情報入手方法 「問 28-b」

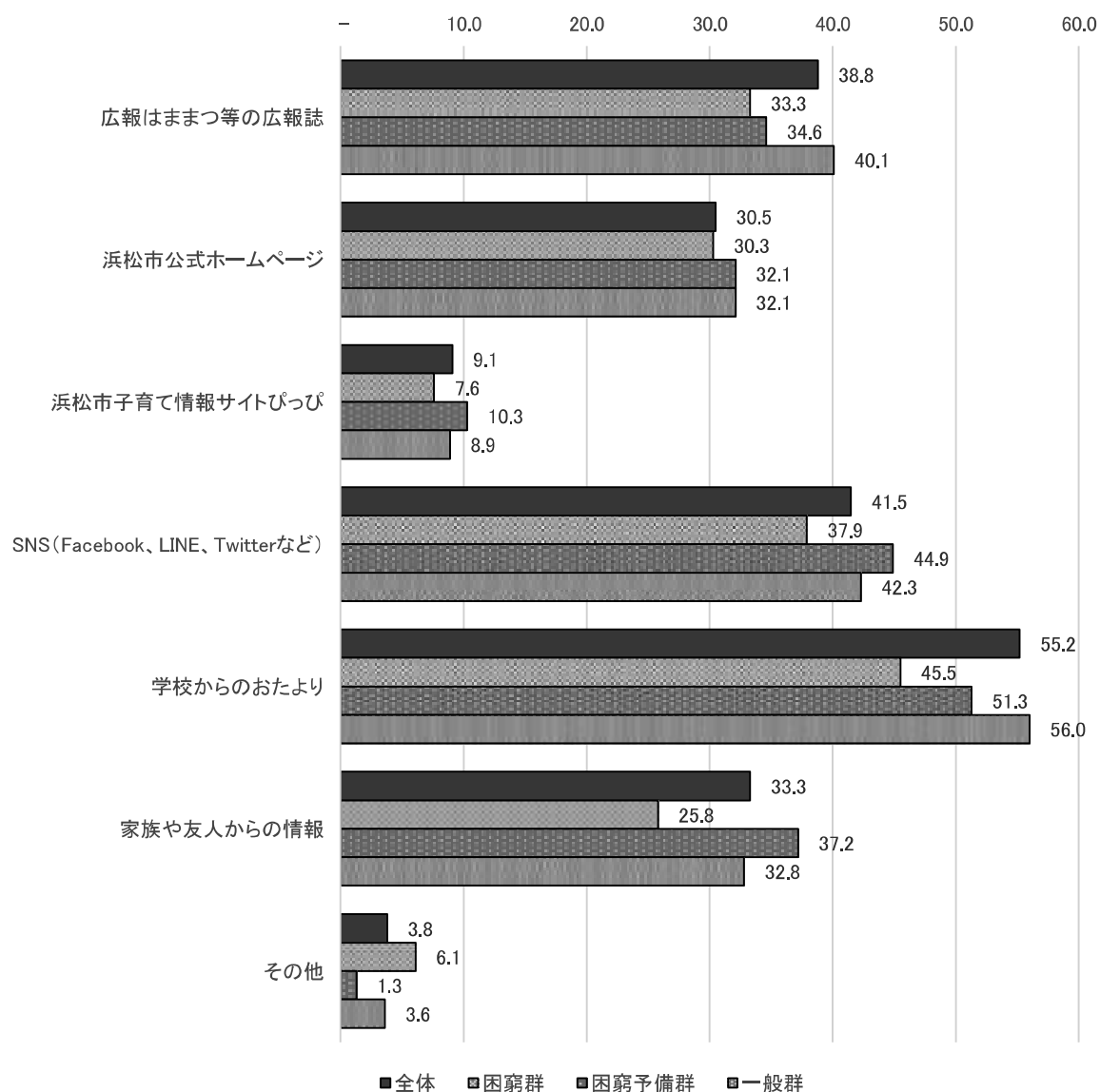


\* 「無回答」は非表示

子育て支援策等の今後希望する情報入手方法について、全体では「学校からのおたより」が 68.3%で最も高く、次いで「SNS」(44.5%)、「家族や友人からの情報」(39.7%)の順に高かった。「SNS」は2番目となり、現状(26.2%)よりも18.3ポイント高かった。

困窮群は、「学校からのおたより」「SNS」「広報はままつ等の広報誌」の順に高かった。「SNS」が現状(24.4%)より21.4ポイント高く、「浜松市公式ホームページ」や「浜松市子育て情報サイトびっぴ」など、インターネットで情報入手を希望する回答割合が一般群より高かった。

【16～17歳 保護者】今後希望する情報入手方法 「問 28-b」



\* 「無回答」は非表示

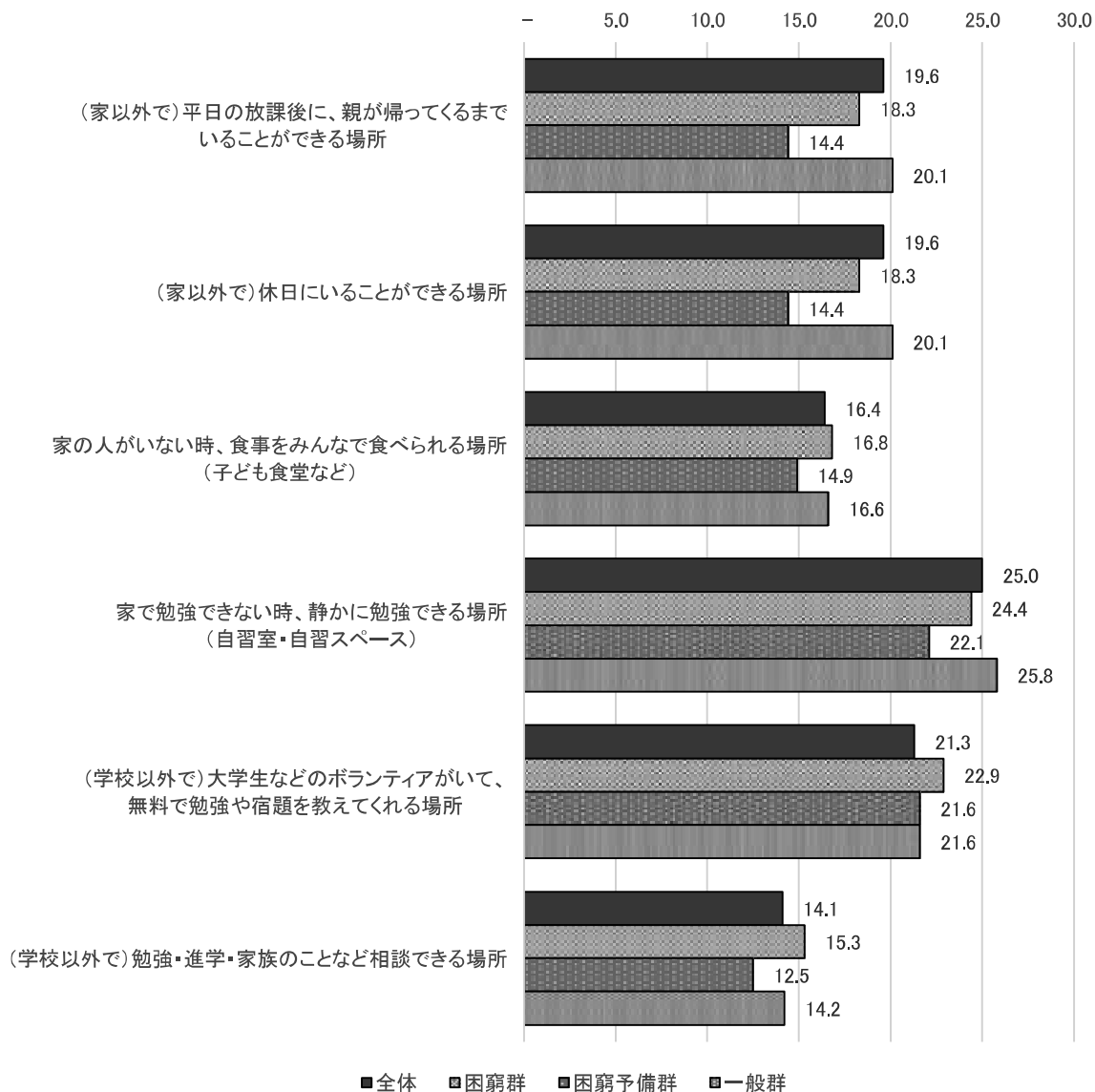
子育て支援策等の今後希望する情報入手方法について、全体では「学校からのおたより」が 55.2%で最も高く、次いで「SNS」(41.5%)、「広報はままつ等の広報誌」(38.8%)の順に高かった。「SNS」は2番目となり、現状(23.1%)よりも18.4ポイント高かった。

困窮群は、「学校からのおたより」「SNS」「広報はままつ等の広報誌」の順に高かったものの、各種情報入手手段において相対的に回答割合が一番低くなっている。

#### (4) 貧困対策事業の利用ニーズ

##### ①子どものニーズ

【小5・中2】利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合） 「問 24」

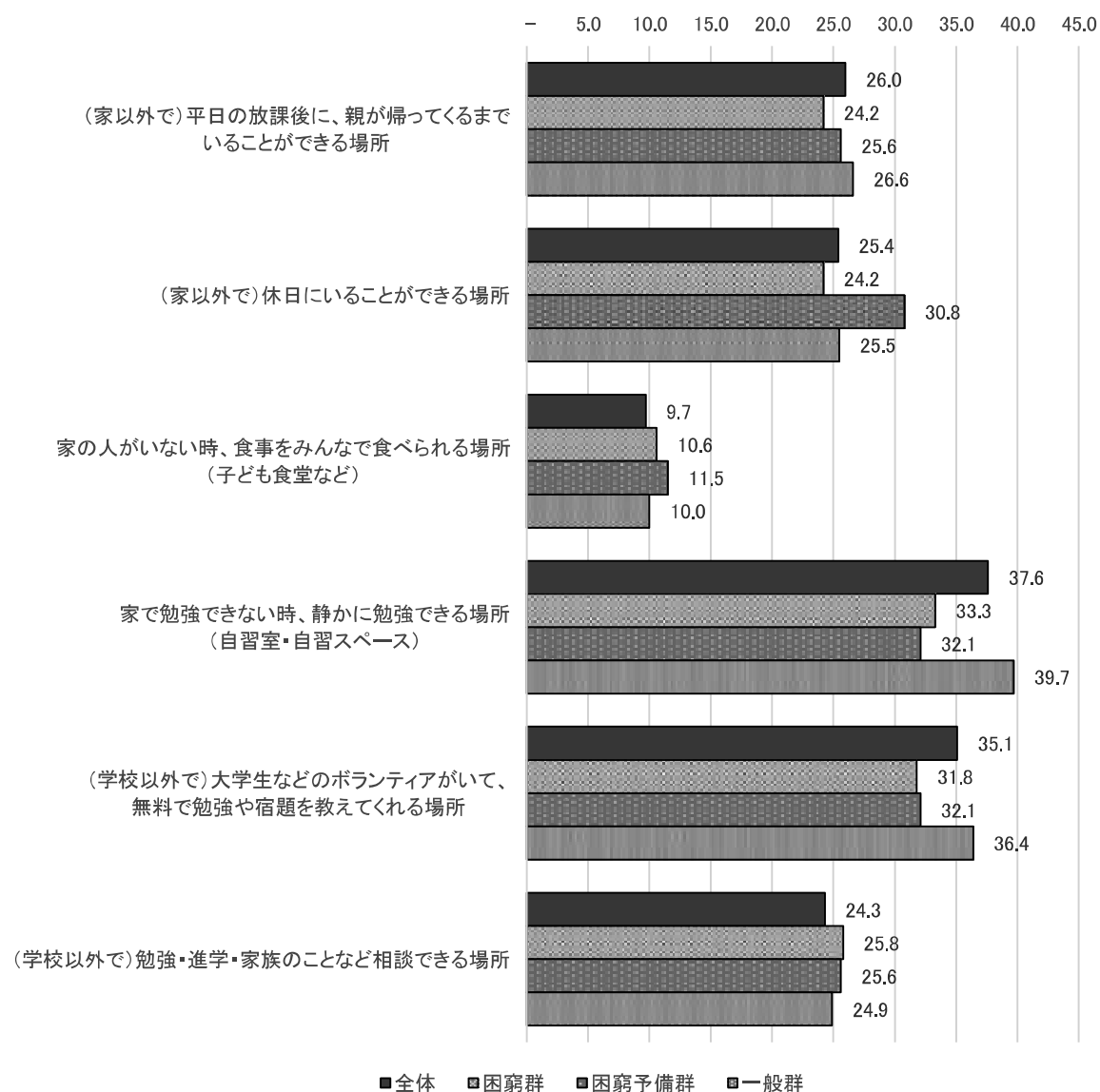


\* 「無回答」は非表示

貧困対策事業の利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合）について、全体では「自習室・学習スペース」が 25.0%で最も高く、次いで「学習支援」（21.3%）、「平日の放課後にいることができる場所」「休日にいることができる場所」（19.6%）の順に高かった。

困窮判定別にみると、「学習支援」は困窮度合いが高いほど回答割合も高かった。保護者にたずねた利用ニーズと比較すると、群ごとの差は小さかった。

【16～17歳】利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合） 「問 28」



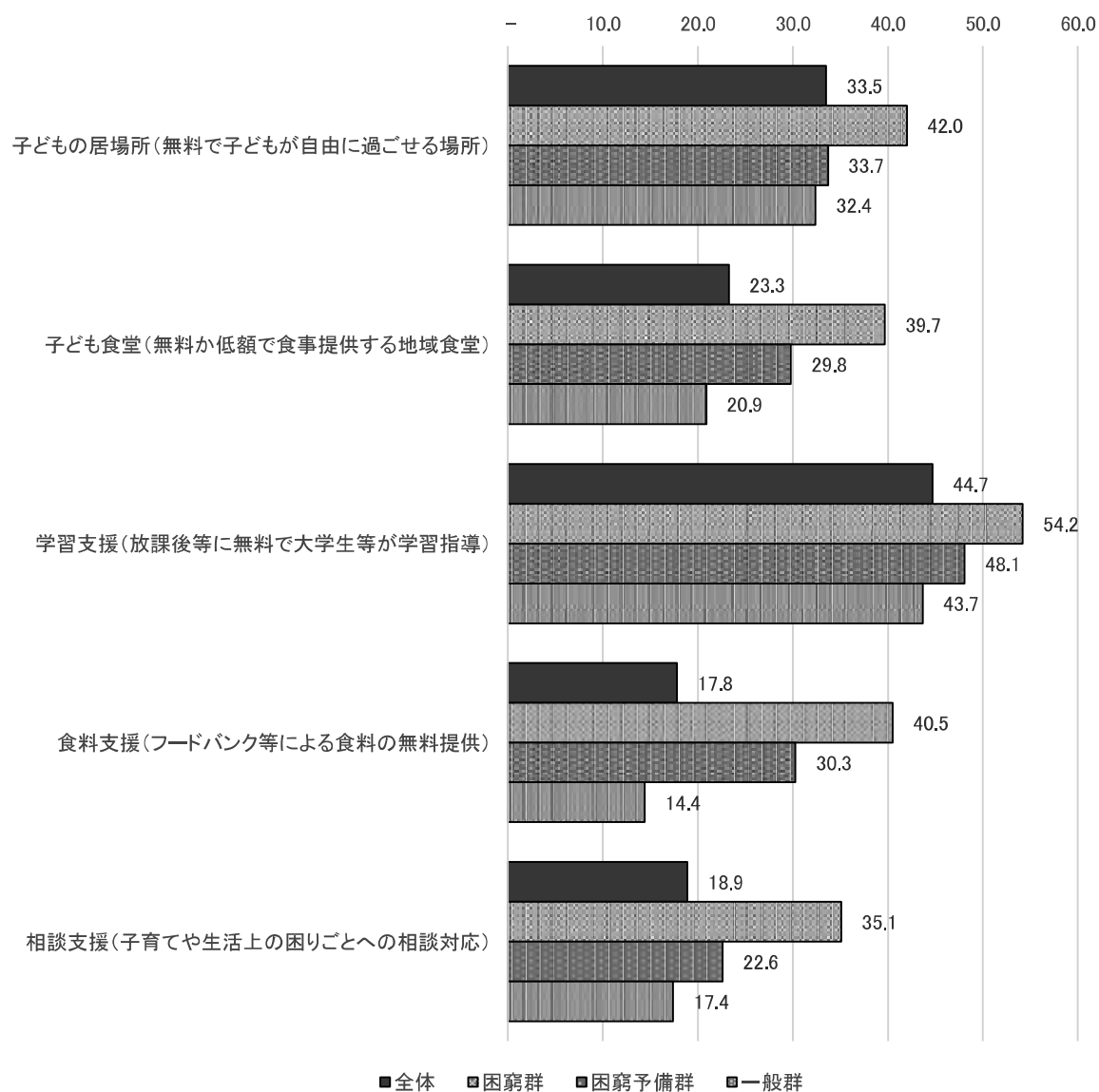
\* 「無回答」は非表示

貧困対策事業の利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合）について、全体では「自習室・学習スペース」が37.6%で最も高く、次いで「学習支援」(35.1%)、「平日の放課後にいることができる場所」(26.0%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、「相談場所」は困窮度合いが高いほど回答割合も高かった。保護者にたずねた利用ニーズと比較すると、群ごとの差は小さかった。

②保護者のニーズ

【小5・中2 保護者】利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合） 「問 30」

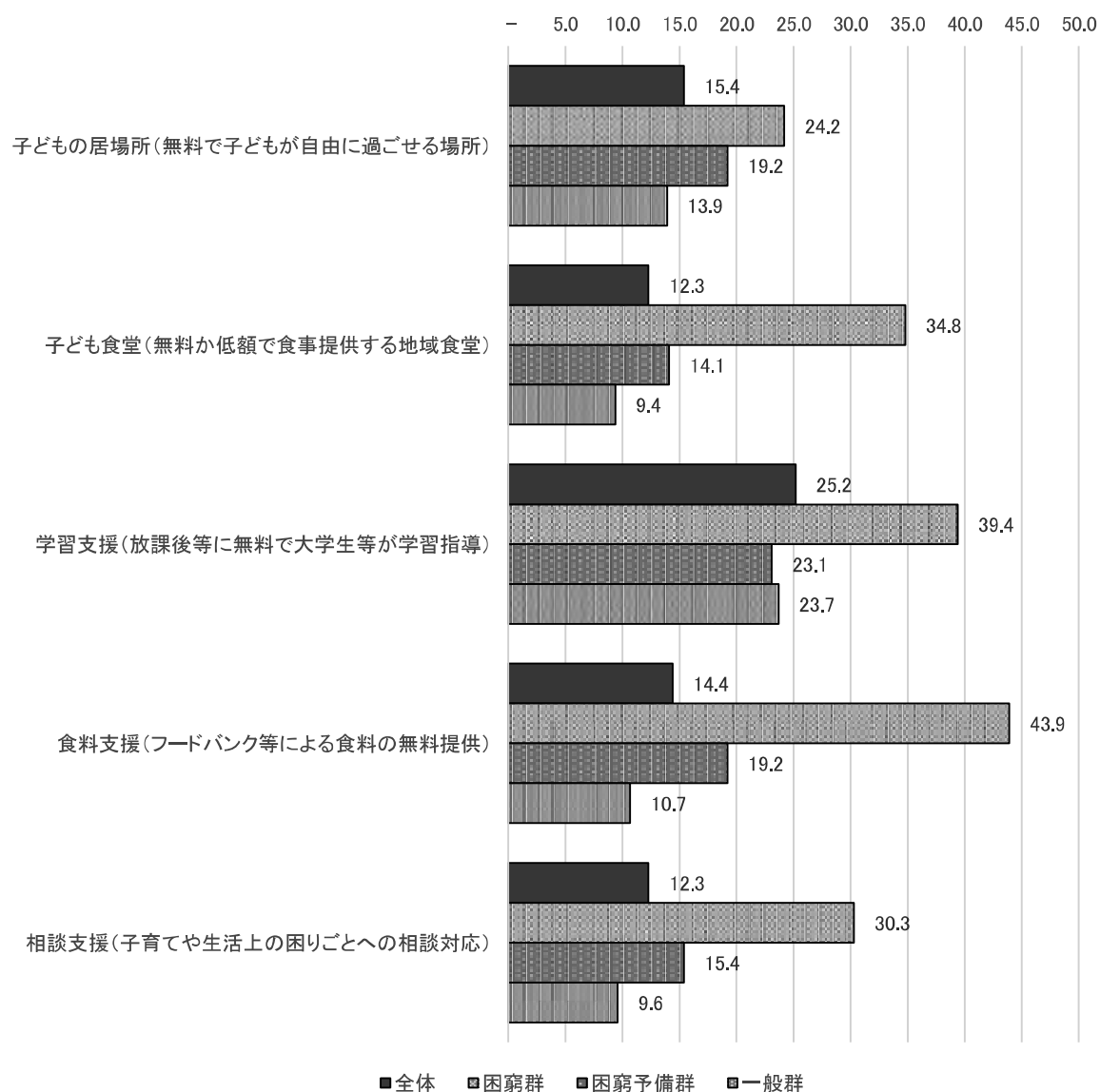


\* 「無回答」は非表示

貧困対策事業の利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合）について、全体では「学習支援」が44.7%で最も高く、次いで「子どもの居場所」(33.5%)、「子ども食堂」(23.3%)の順に高かった。

困窮判定別にみると、いずれの項目も困窮度合いが高いほど回答割合も高く、子どもにたずねた利用ニーズと比較すると、群ごとの差は大きかった。困窮群はいずれの項目も回答割合が3割を超えている。

【16～17歳 保護者】利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合） 「問 30」



\* 「無回答」は非表示

貧困対策事業の利用ニーズ（「使ってみたい」の回答割合）について、全体では「学習支援」が25.2%で最も高く、次いで「子どもの居場所」（15.4%）、「食料支援」（14.4%）の順に高かった。

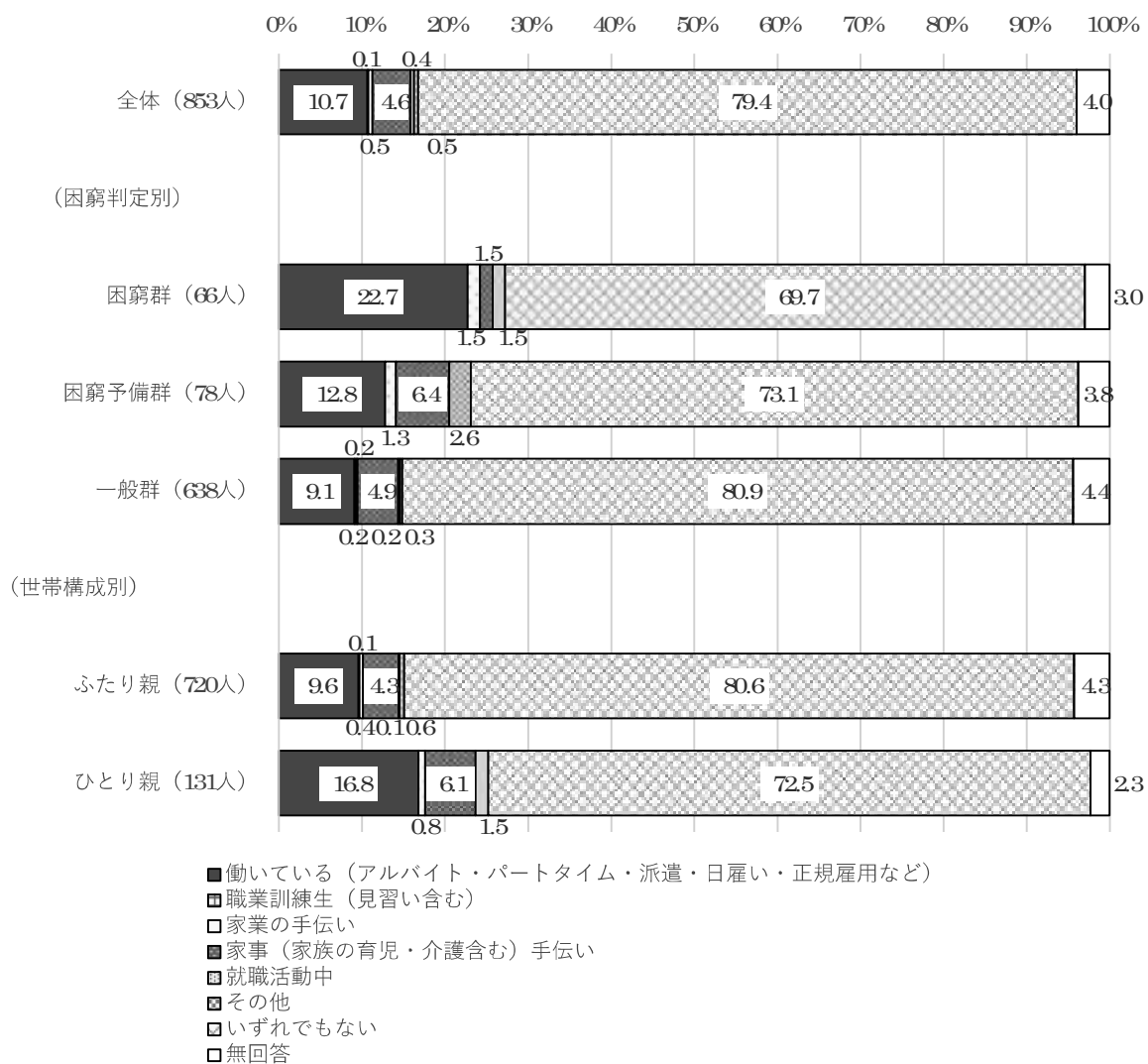
困窮判定別にみると、いずれの項目も困窮度合いが高いほど回答割合も概ね高く、子どもにたずねた利用ニーズと比較すると、群ごとの差は大きかった。困窮群は「子どもの居場所」を除く4項目の回答割合が3割を超えている。



## (5) 16～17歳の勤労状況

### ①現在働いているか

【16～17歳】現在働いているか 「問2」



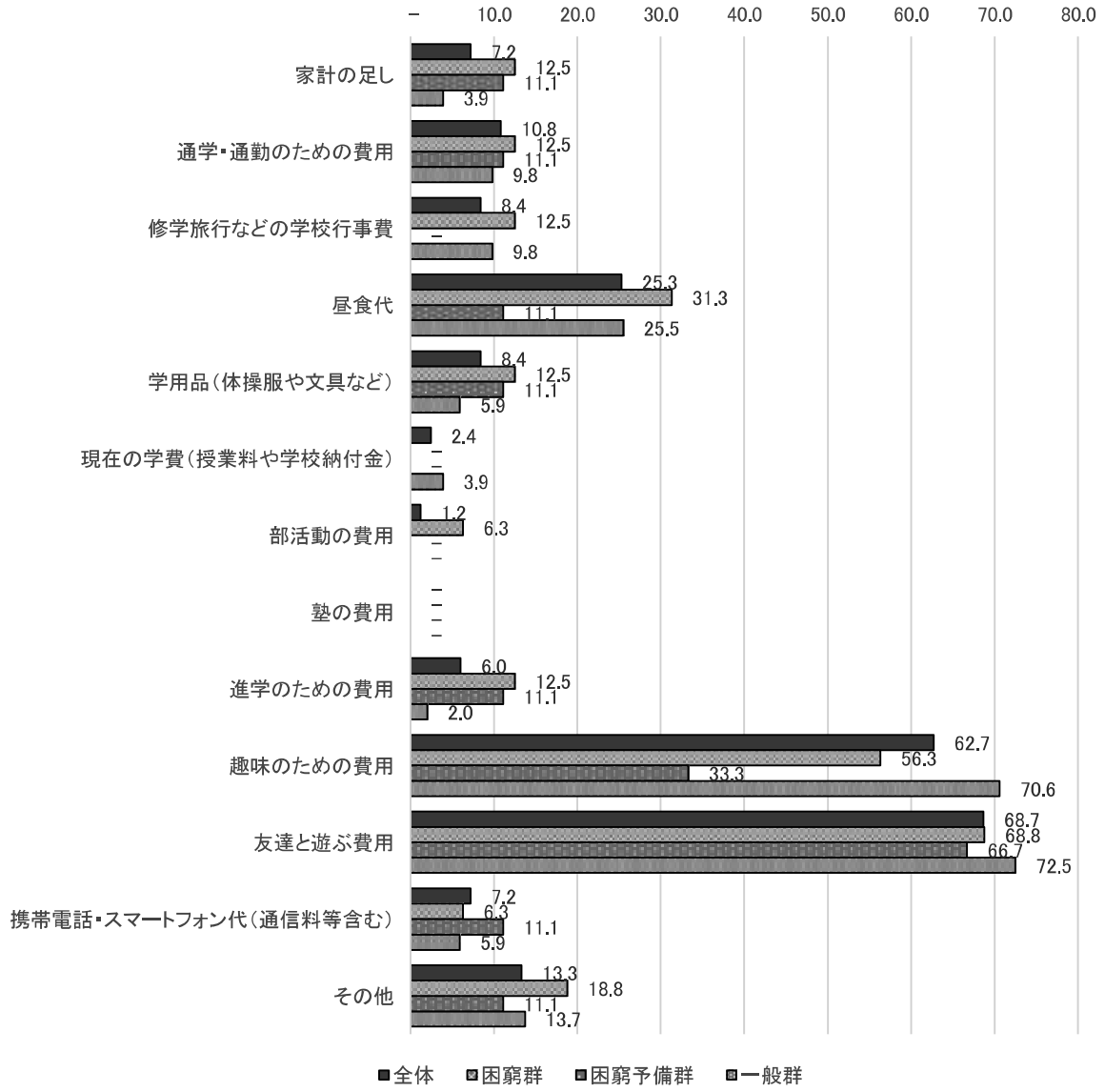
現在働いているかをたずねたところ、全体では「いずれでもない」が79.4%で最も高く、次いで「働いている」(10.7%)だった。

困窮判定別にみると、困窮度合いが高いほど「働いている」が高くなり、困窮群は「働いている」が22.7%となった。

世帯構成別にみると、ひとり親は「働いている」が16.8%と高かった。

②稼いだお金の用途

【16～17歳】稼いだお金の用途 「問25」



\* 「無回答」は非表示

現在お金を稼いでいる人に、稼いだお金の用途についてたずねたところ、全体では「友達と遊ぶ費用」が68.7%で最も高く、次いで「趣味のための費用」の62.7%となった。

「家計の足し」「修学旅行などの学校行事費」「学用品(体操服や文具など)」「進学のための費用」は全体では回答割合が10%未満となったが、困窮群では回答割合が10%を超えている。

## (6) 自由意見まとめ

### ①子どもの意見

#### 【小5・中2】浜松市にしてもらいたいこと 「問 26」

記載のあった意見を内容ごとに分類し、以下のようにまとめた。

内容	件数
施設（公園、図書館、民間施設等）	195
学校（校則、授業、施設・備品等）	184
お金について	139
環境、防犯、防災	102
夢、進学、職業	98
子どもの居場所	69
浜松市について	64
通学路、交通手段	43
いじめ	38
先生	36
学習支援	26
その他	289

最も多かったのは「施設（公園、図書館、民間施設等）」で195件だった。次いで、「学校（校則、授業、施設・備品等）」（184件）、「お金について」（139件）の順に多かった。

上記のほかに、「環境、防犯、防災」「夢、進学、職業」も100件ほどの回答があった。

最も多かった「施設（公園、図書館、民間施設等）」をさらに細かく分類すると、公園に関しては「子どもだけで行ける公園」「遊具の充実」「ボール遊びができる」や、民間施設に関しては「ショッピングセンター」や「テーマパーク（アミューズメント施設）」の意見が多くみられた。

【16～17歳】浜松市にしてもらいたいこと 「問30」

記載のあった意見を内容ごとに分類し、以下のようにまとめた。

内容	件数
学習スペース、自習室、居場所	77
施設（公園、図書館、民間施設等）	60
通学路、交通手段	60
浜松市について	47
進学、職業	32
学校（校則、授業、施設・備品等）	21
お金について	19
先生	8
環境、防犯、防災	5
その他	52

最も多かったのは「学習スペース、自習室、居場所」で77件だった。次いで、「施設（公園、図書館、民間施設等）」「通学路、交通手段」（60件）の順に多かった。

上記のほかに、「浜松市について」「進学、職業」も30件以上の回答があった。

最も多かった「学習スペース、自習室、居場所」をさらに細かく分類すると、「静かに勉強できる」「無料で利用できる」「図書館よりも長時間利用できる」「自宅周辺」の意見がみられた。

②保護者の自由意見

【小5・中2 保護者】子どもの成長に必要と思う支援や取り組み 「保護者調査 問 31」

記載のあった意見を内容ごとに分類し、以下のようにまとめた。

内容	件数
子育て支援全般の意見	162
教育費（高校・大学等）の無償化・支援等	129
学校・教育関連	127
子どもの居場所・交流等	67
医療費	49
親・家庭の環境、親の教育	46
不登校・障がい・発達支援について	45
学習支援	34
相談支援について	31
施設（公園、図書館、民間施設等）	28
学童保育・放課後児童会	26
ひとり親に関すること	25
安心・安全な地域づくり	24
児童手当	14
いじめ	4
その他	133

最も多かったのは「子育て支援全般の意見」で162件だった。次いで、「教育費（高校・大学等）の無償化・支援等」（129件）、「学校・教育関連」（127件）の順に多かった。

「子育て支援全般の意見」をさらに細かく分類すると、「給食費無料」「保育料無料」「支援が偏っている」「他自治体のような支援の導入」の意見がみられた。

【16～17歳 保護者】子どもの成長に必要と思う支援や取り組み 「保護者調査 問31」

記載のあった意見を内容ごとに分類し、以下のようにまとめた。

内容	件数
子育て支援全般の意見	70
教育費（高校・大学など）の無償化・支援等	42
学校・教育関連	29
相談支援について	21
学習スペース、自習室、居場所	15
医療費	11
親・家庭の環境、親の教育	10
不登校・障がい・発達支援について	10
児童手当	7
ひとり親に関すること	5
安心・安全な地域づくり	4
施設（公園、図書館、民間施設等）	4
学習支援	3
いじめ	1
その他	62

最も多かったのは「子育て支援全般の意見」で70件だった。次いで、「教育費（高校・大学等）の無償化・支援等」（42件）、「学校・教育関連」（29件）の順に多かった。

「子育て支援全般の意見」をさらに細かく分類すると、「平等な支援」「親の収入に関係ない支援」「子どもの人数に応じた支援」の意見がみられた。

## Ⅱ 支援者アンケート

### 1. 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、浜松市が子ども支援の充実を図るにあたり、市内で活動する支援団体の活動状況や支援対象者の状況等を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的に実施した。

### (2) 調査実施概要

- ①調査対象 市内で学習支援や子ども食堂などを実施している団体
- ②調査方法 メールまたはFAX
- ③調査期間 令和6年3月7日～18日

### (3) 回答者の属性（単位：団体数）

#### ①団体の事業形態

事業形態	件数
市民活動系の任意団体(サークル、クラブなど)	2
特定非営利活動法人(認定特定非営利活動法人を含む)	6
社会福祉法人	4
社団法人(一般・公益)	0
財団法人(一般・公益)	0
株式会社などの企業(社内ボランティア活動を含む)	2
その他	4
合計	18

#### ②「代表者」「活動の担い手」の経歴

経歴	代表者	活動の担い手 (複数回答)
教員	2	5
PTA役員・委員	0	0
行政関係者	0	4
自治会関係者	0	1
企業関係者(業界団体、商工会なども含む)	1	3
福祉関係者(社会福祉協議会、民生委員児童委員など)	3	8
市民活動団体関係者(NPOやボランティア団体など)	5	5
その他	7	10
無回答	0	2
合計	18	18



## 2. 調査結果

## (1) アンケート調査結果

「現在実施している」「今後取り組みたい」活動（複数回答）

単位：件数

活動内容	現在	今後
子どもへの教育支援	23	24
基礎的内容の学びなおし	6	7
学習習慣の改善	7	7
進学支援	7	6
中退防止	3	4
家庭への食糧提供	27	13
食事の提供	10	4
食生活の改善	3	1
食材の提供	14	8
家庭への生活支援	5	10
子どもの生活スキル育成	3	2
夜間滞在を含む住居の提供	0	3
登校支援	1	2
家庭での養育支援	1	3
保護者・子どもへの就労支援	6	5
就職先の紹介やあっせん	1	1
進路相談	5	4
子どもの居場所づくり	34	19
安心していただける場の提供	14	8
仲間づくりの支援	9	5
遊び場の提供	11	6
その他の支援	12	13
児童養護施設等入退所者の支援	1	4
里親・特別養子縁組に関する支援	1	3
子どもの貧困対策に関する活動以外の活動を実施	5	3
その他の支援	5	3
無回答	0	3

- 現在実施している活動は、「安心していただける場の提供」「食材の提供」が14件で最も多かった。次いで「遊び場の提供」が11件で多く、『子どもの居場所づくり』に関する活動が多かった。
- 今後取り組みたい活動は、「安心していただける場の提供」「食材の提供」が8件で最も多く、次いで「基礎的内容の学びなおし」「学習習慣の改善」（7件）が多かった。カテゴリ別にみると、『子どもへの教育支援』が24件で最も多かった。

団体の活動範囲

活動範囲	件数	割合(%)
町内会圏域(小学校区を細分化した単位町内会を指す)	0	0.0
小学校区	1	5.6
中学校区	2	11.1
行政区	4	22.2
市内全域	2	11.1
隣接する複数の市町	0	0.00
特に定めていない	9	50.0

- 「特に定めていない」が9件で最も多く、次いで「行政区」(4件)が多かった。

支援することを目的としている参加者(複数回答)

支援することを目的としている参加者	件数	割合(%)
障害を持つ子ども又はその保護者	7	38.9
ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者	7	38.9
非行歴のある子ども又はその保護者	4	22.2
高校を中退した子ども又はその保護者	4	22.2
ひとり親世帯	13	72.2
外国にルーツを持つ子ども又はその保護者	7	38.9
児童養護施設の出身者	5	27.8
上記以外の経済的困窮世帯	9	50.0
特に限定していない	7	38.9
その他	1	5.6

- 「ひとり親世帯」が13件で最も多く、次いで「経済的困窮世帯」(9件)、「障害を持つ子ども又はその保護者」「ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者」「外国にルーツを持つ子ども又はその保護者」「特に限定していない」(7件)の順に多かった。

目的としている参加者以外の参加者の有無

目的としている参加者以外の参加者	件数	割合(%)
いる	2	11.1
いない	16	88.9

- 「いる」が2件、「いない」が16件だった。

目的としている方以外の参加者（複数回答）

目的としている方以外の参加者	件数	割合(%)
障害を持つ子ども又はその保護者	2	11.1
ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者	1	5.6
非行歴のある子ども又はその保護者	0	0.0
高校を中退した子ども又はその保護者	1	5.6
ひとり親世帯	0	0.0
外国にルーツを持つ子ども又はその保護者	1	5.6
児童養護施設の出身者	1	5.6
上記以外の経済的困窮世帯	1	5.6
特に限定していない	0	0.0
その他	0	0.0

- 「障害を持つ子ども又はその保護者」が2件で、次いで「ひきこもり・不登校の子ども又はその保護者」「高校を中退した子ども又はその保護者」「外国にルーツを持つ子ども又はその保護者」「児童養護施設の出身者」「経済的困窮世帯」（1件）となっている。

活動の対象となる年齢層（複数回答）

年齢層	件数	割合(%)
未就学児	9	50.0
小学校低学年（1～3年生）	12	66.7
小学校高学年（4～6年生）	14	77.8
中学生	12	66.7
高校生	8	44.4
大学生・専門学校生等	1	5.6
上記以外の子ども（20歳未満）	2	11.1
子どもの保護者	9	50.0
特に限定していない	3	16.7
その他	1	5.6

- 「小学校高学年」（14件）、「小学校低学年」「中学生」（12件）が多く、義務教育の期間を対象としている団体が多かった。

活動の実施頻度

活動頻度	件数	割合(%)
週3回以上	6	33.3
週1～2回程度	6	33.3
2週間に1回程度	0	0.0
1か月に1回程度	5	27.8
数か月に1回程度	0	0.0
特に限定していない	1	5.6

- 「週3回以上」「週1～2回」が6件で最も多く、次いで「1か月に1回程度」（5件）が多かった。
- 『週1回以上』は12件で全体の66.7%を占めた。

月平均利用者数（延べ人数）

利用者数	件数	割合(%)
0人	0	0.0
1～9人	0	0.0
10～19人	3	16.7
20～29人	1	5.6
30～39人	2	11.1
40～49人	1	5.6
50～99人	4	22.2
100～199人	5	27.8
200～299人	0	0.0
300人以上	1	5.6
把握していない	1	5.6

- 「100～199人」が5件で最も多く、次いで「50～99人」（4件）が多かった。『50人以上』は10件で、全体の83.3%を占めた。

支援活動からの子どもの変化（複数回答）

子ども達の変化について	件数	割合(%)
進学することができた	4	22.2
就職することができた	2	11.1
学力が向上した	3	16.7
自治体や他の団体との連携により、公的支援を受けられた	6	33.3
学びや就労など社会生活への意欲が向上した	5	27.8
他者とのコミュニケーション能力が向上した	8	44.4
笑顔が増えた	12	66.7
自尊心・自信が醸成された	6	33.3
子どもが親以外に頼れる「大人」を増やすことができた	9	50.0
健康・栄養状態の改善ができた	5	27.8
様々な体験の機会を得ることを通じて生活の質が向上した	6	33.3
将来に希望が持てるようになった	4	22.2
特に変化は見られない	2	11.1
その他	2	11.1

- 「笑顔が増えた」が12件で最も多く、次いで「子どもが親以外に頼れる「大人」を増やすことができた」が9件で多かった。
- 「特に変化は見られない」は2件だった。

「連携している関係機関」「今後連携したい関係機関」（複数回答）

単位：件数

関係機関	現在	今後
行政の福祉関係部署（福祉事務所、児童相談所等）	9	8
行政の教育関係部署（教育委員会等）	6	7
行政の保健機関（保健所、精神保健福祉センター等）	6	7
行政の就労支援機関（ハローワーク等）	2	2
社会福祉協議会	13	9
保育園、保育所、幼稚園	2	6
小学校、中学校	7	9
高等学校	4	5
大学、専修学校等	1	3
医療機関	3	3
矯正・更生保護機関（保護観察所、少年鑑別所等）	0	1
民間企業	6	9
経営者団体（商工会議所、商工会等）	1	5
地域の特別職ボランティア（民生委員、児童委員等）	8	8
NPO、ボランティア団体	6	7
連携する予定はない	0	1
その他	0	1
無回答	1	3

- 現在連携している関係機関は、「社会福祉協議会」が13件で最も多く、次いで「行政の福祉関係部署」（9件）、「地域の特別職ボランティア」（8件）の順に多かった。
- 今後連携したい関係機関は、「社会福祉協議会」「小学校・中学校」「民間企業」が9件で最も多く、次いで「行政の福祉関係部署」「地域の特別職ボランティア」が8件で多かった。

所属しているネットワーク（複数回答）

ネットワークの種類	件数	割合(%)
全国規模のネットワークに所属している	3	16.7
都道府県単位のネットワークに所属している	2	11.1
市区町村単位のネットワークに所属している	7	38.9
所属していない	6	33.3
その他	0	0.0

- 「市区町村単位のネットワークに所属している」が9件で最も多かった。
- 「所属していない」は6件だった。



現在の課題（複数回答）

課題	件数	割合(%)
団体の運営に関する経験や情報が不足している	3	16.7
団体を継続するための資金が不足している	6	33.3
団体運営の中心的役割を担うスタッフが不足している	7	38.9
団体運営をサポートするボランティアが不足している	9	50.0
金銭面以外の理由で活動に必要な物資、場所、設備の確保が難しい	5	27.8
活動規模を拡充したいが、実現できない	2	11.1
広報の方法がわからない	1	5.6
支援を必要とする対象者（子ども、保護者、世帯）の把握が難しい	9	50.0
支援を必要とする対象者に来てもらうことが難しい	7	38.9
支援している対象者に変化が見られない	1	5.6
参加者が少ない	0	0.0
参加者が多く、対応できない	3	16.7
参加者の個人情報の管理が難しい	1	5.6
他機関・団体との連携が不足している	6	33.3
その他	3	16.7
無回答	1	5.6

- 「団体運営をサポートするボランティアが不足している」「支援を必要とする対象者の把握が難しい」が9件で最も多く、次いで「団体運営の中心的役割を担うスタッフが不足している」「支援を必要とする対象者に来てもらうことが難しい」が7件で多かった。

## (2) 記述意見まとめ

支援対象の子どもや世帯に不足しているもの（重要なもの）

最も重要なもの	3件 支援の対応（仕組・スピード感） 2件 お金 2件 保護者の関心・意識 2件 地域・近隣とのつながり 2件 信頼関係の構築 2件 その他
2番目に重要なもの	2件 居場所 2件 支援のニーズの見立て 9件 その他
3番目に重要なもの	1件 気軽な連絡先（相談先） 1件 支援者 1件 情報共有 8件 その他
4番目に重要なもの	1件 定期的な見守り 1件 支援内容の充実 4件 その他
5番目に重要なもの	1件 支援に対する社会的な認識の変化 1件 他関係機関との連携 2件 その他

- 最も重要なものは、「支援の対応」が3件で、次いで「お金」「保護者の関心・意識」「地域・近隣とのつながり」「信頼関係の構築」が（2件）が多かった。
- 重要なものの累計でも、「支援（内容・対応・ニーズ）」「お金」「情報」「信頼関係」に関する記述が多かった。

支援対象者の特徴。抱えている課題

<p>保護者の 特徴・課題等</p>	<p><b>【属性・背景等】</b>          6件 ひとり親          6件 障がい、精神疾患、病気          3件 外国にルーツがある          5件 その他</p> <p><b>【子どもとの関わり方】</b>          4件 理解・関心不足、放任          4件 関わる時間の不足          4件 その他</p> <p><b>【就労の状況等の経済状況】</b>          3件 パート・非正規          3件 未就労          2件 離就職の繰り返し</p> <p><b>【制度等の利用状況】</b>          3件 制度知らない          3件 支援の利用を勧めるも遠慮          4件 その他</p> <p><b>【その他】</b>          1件 子どもへの支援（学習、就労）が保護者の都合でできない</p>
<p>子どもの 特徴・課題等</p>	<p><b>【属性・背景等】</b> ※身なり、健康状態、食生活など          5件 障がい（発達障害など）          4件 不登校・中退          4件 ひとり親、貧困家庭、ヤングケアラー          3件 その他</p> <p><b>【保護者との関わり方】</b>          4件 分離不安          3件 ヤングケアラー          4件 その他</p> <p><b>【生活習慣の定着状況】</b>          3件 一般的な常識・知識に乏しい          3件 親以外の大人と接する機会が少ない          2件 その他</p> <p><b>【学力面や学習習慣の定着状況】</b>          4件 学習習慣が定着していない          2件 学習支援の継続が必要          2件 学力が低いことへの危機感がない          2件 その他</p> <p><b>【その他】</b>          3件 その他</p>

- 利用する保護者の多くはひとり親、生活困窮世帯で就業状況が安定していない。時間不足、関心不足等で子どもとの関係が希薄になっている保護者も多いことがうかがえる。
- 子どもは、健康状態、家庭環境、生活習慣、学力等多くの問題を抱えている。

今後の展望

<p>今後求められる取組や支援</p>	<p><b>【関係機関・団体に対して】</b>              8件 行政・関係機関との連携              4件 その他</p> <p><b>【困難を抱える子供に対して】</b>              2件 学習支援や居場所づくり              6件 その他</p> <p><b>【主に対応することの多い相談内容】</b>              4件 経済支援              3件 子育て（養育不安、子どもの発達など）              2件 健康              2件 学習支援              4件 その他</p> <p><b>【対応に苦慮する（した経験のある）相談・支援内容】</b>              2件 親の問題（障がいや疾患のある保護者）              2件 長時間や開催日以外での子どもの預かり              4件 その他</p>
<p>今後、必要と考える支援</p>	<p>3件 支援を求めやすい体制              2件 情報共有・連携強化              2件 食糧支援              5件 その他</p>

- 行政・関係機関との連携強化・情報共有が求められている。
- 主に対応することの多い相談内容について、「経済支援」が4件で最も多かった。
- 今後、必要と考える支援は「支援を求めやすい体制」が3件で最も多く、次いで「情報共有・連携強化」「学習支援・教育費支援」（2件）の順に多かった。

### Ⅲ 付録

#### 1. 子どもの生活実態調査 調査票



## (1) 保護者調査

### ① 依頼通知

調査に回答いただく保護者の皆様へ



松松市

#### 松松市子どもの生活実態調査

日ごろ、市政の発展につきまして、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。松松市では子ども支援のため、生活の実態把握や市民の皆様のお考えをお聞きし、今後の施策・事業の基礎資料として活用することを目的にアンケート調査を実施します。

お答えいただいた内容につきましては、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切使用されることはありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

#### 1 向封しているもの

- (1) 調査に回答いただく保護者の皆様へ（この用紙）
- (2) アンケートの参考資料（青紙）
- (3) 7歳未満アンケート（黄紙）
- (4) 保護者用アンケート（ピンク紙）
- (5) 子ども用封筒（茶色の小さな封筒）
- (6) 保護者用封筒（茶色の小さな封筒）
- (7) 返信用封筒（半分に折られた茶色の大きな封筒）

#### 2 アンケートについて

- ・この調査は松松市内の小学校在5年生と中学校2年生、16～17歳のお子さんと、その保護者の方にご協力をお願いしています。対象のお子さんは用紙裏に抽出させていただきます。
- ・アンケートは令和6年1月1日現在でお返しくたい、無記名でお戻しします。

#### (1) 子ども用アンケート（黄紙）

- ・子ども用のアンケートは送られてきた封筒の宛名のお子さんがお返しくさい。
- ・基本的に、お子さんお一人で回答していただきます。
- ・お子さんに「子ども用アンケート（黄紙）」と「子ども用封筒（茶色の小さな封筒）」をお返しくさい。
- ・お子さんにアンケート紙を渡す際には、次の3点をお返しくさい。
  - ①名前を書かないこと
  - ②アンケートの記入が終わったら茶色の小さな封筒に入れて、封をする
  - ③封をしたら保護者の方に返すこと

調査に回答いただく保護者の皆様へ



浜松市

(2) 保護者用アンケート（ピンク色）

- ・保護者用のアンケートが送られてきた封筒の宛名のお子さんの保護者の方が無記名で回答してください。（保護者以外の方が代わりに回答することは決してしないでください）
- ・回答は、回答欄に数字などを記入するものと、回答の数字をひでしつまたは、いくつかの回答欄のものがあります。質問に沿ってお答えください。
- ・アンケートはBページあります。該当する質問すべてにご回答ください。
- ・このアンケートの中の「お子さん」は封筒の宛名のお子さんのことを指します。
- ・回答が終わりましたら、「保護者用封筒（茶色の小さな封筒）」に入れて、封をしてください。

3 返信方法

『子ども用アンケート（黄色）』を入れて封をした『子ども用封筒（茶色の小さな封筒）』と『保護者用アンケート（ピンク色）』を入れて封をした『保護者用封筒（茶色の小さな封筒）』を『返信用封筒（茶色の大きな封筒）』に入れ、封をして無記名でポストに投函してください。切手は不要です。

返信期限 令和6年1月25日（木）まで

この調査は浜松市が行うものです。

調査に関することや回答にあたってご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

浜松市子ども家庭課子育て支援課

【本調査についてのお問い合わせ】

浜松市役所 子育て支援課「子どもの生活実態調査」係

電話：053-457-2792

FAX：053-457-3011

Email: kosodate@city.hamamatsu.shizuoka.jp





松山市

**アンケートの参考資料**

※「保護者用アンケート（ピンク色）」 図29の行政機関等が行っている支援制度の内容

**a) 給食補助** ※貧困世帯への給食費助成については、別のHPをご覧ください

公立小・中学校に通う子どもたちが滞りなく給食費を支払えるよう、経済的な理由でお困りの方に対して、学用品費や給食費などの一部を補助するもので、補助を希望される方はお子さんの在籍する小・中学校へ申し込みます。

※補助を受けられるかどうか、認定基準に基づき教育委員会が審査を行います。

**b) 生活扶助**

生活にお困りの方へ、必要に応じた補助を行うことにより、最低限度の生活を保障するとともに、自立しているように手助けをする区の制度です。

保護を希望される方は各区役所・行政センター内の生活保護担当へ相談・申し込みます。

※保護を受けられるかどうか、世帯収入などの審査を行います。

**c) 生活困窮者の自立相談支援窓口**

生活にお困りの方からの相談に応じて、適切な関係機関・支援窓口へつなぐとともに、必要な関係機関と連携して課題解決に向けた寄り添い型支援を行う相談支援窓口です。

**d) 児童扶養手当**

父母の死亡などで、父親または母親と生計を共にしていない18歳の年度末12月31日までの児童を養育しているひとり親家庭の父または母、または父母に代わってその児童を養育している人に支給されるものです。

**e) ひとり親サポートセンター**

ひとり親家庭の父または母に対して生活相談、就業相談、就業支援講習会や各種情報提供の場を提供するサービスを行っています。

※場所 浜松総合庁舎1階

**f) 行政の子育て相談窓口**

教育のこと、健康のこと、子育てのことなど、生活に悩む問題の解決に向けた相談窓口を開設しています。

この他にも、さまざまな支援制度があります。

詳しくは [浜松子育て情報サイト](#)

→裏面に続きます



※「保護者用アンケート（ピンク色）」 篇30の取り組みや支援制度の内容

#### a) 子どもの居場所

放課後等に子どもや地域の人の集まりに交流でき、子どもが安心して過ごせる地域の居場所を無料で提供します。  
食卓の提供、学習支援、多世代交流、遊び場の提供などが行われます。

#### b) 子ども食堂

子どもの居場所の取り組みの一つです。  
自宅または支店にキッチンのある食事の店かな回らんを提供する地域の活動です。  
子どもだけでなく親ずくも参加でき、拒食の防止のほか地域コミュニティの中の子どもの居場所を提供します。

#### c) 学習支援

子どもの居場所の取り組みの一つです。  
地域の大学生や元教員などのボランティアが、宿題の支援や学習習慣の定着のため、放課後等に無料で学習支援を行います。

#### d) 食料支援

食品ロスの有効活用等により、家庭等に食料や食料品を提供します。  
主に、家庭保存できる加工食品などを宅配または配付します。

#### e) 相談支援

民生委員児童委員、主任児童委員、スクールソーシャルワーカー、コミュニティソーシャルワーカーなどが、子育てや生活の困りごと、子どもの養育などの相談に応じます。  
必要に応じて支援機関につなぎ、子どもの生活向上を図ります。

令和6年1月

浜松市子どもの生活実態調査（小学5年生、中学2年生の保護者用）

★この欄目の説明については、「調査に回答いただく保護者の皆様へ」のお手紙をご確認ください。

あなた（回答者）のこと、あなたの世帯のことについて、おたずねします。

問1 ご回答いただく方はどなたですか、お子さんからみれば関係でお答えください。（1つに1）

1. 父親 2. 母親 3. その他（具体的に）

問2 お住まいの区はどこですか。旧区が不明な方はお送りした封筒の宛先住所に旧区名が記載されているので、そちらをご確認ください。（1つに1）

- 中央区のうち 1. 東中区 2. 旧東区 3. 旧西区 4. 旧南区 5. 旧北区  
浜名区のうち 6. 北北区 7. 旧浜東区 8. 天竜区

問3 現在の婚姻状況を教えてください。（1つに1）

1. 結婚している（市営・共済組合含む） 2. 離婚（再婚中を含む） 3. 死別 4. 未婚

問4 お子さんの様子を教えてください。主子さんからみれば関係でお答えください。

（あてはまる方を〇でマークしてください。人数はカッコ内に数字）

※ 家族とは、親と一緒に、同一住所で生活している方を知ります。

✓ 単身赴任している家族や住居外にいる子ども、入院中の方など、原則同一住所している場合は家族に含めてください。

1. 父親 2. 母親  
3. お子さん（たち） → カッコ内に人数を記入（宛名のお子さんも人数に含める）

小学生以下年齢		小学生	中学生	高校生	専門学校生 大学生	社会人	その他
3歳未満	3歳以上						
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

4. 父方の祖父 5. 父方の祖母 6. 母方の祖父 7. 母方の祖母  
8. その他 → ( ) 人

問5 家族に介護や介助を必要とする方はいますか。（1つに1）

1. はい 2. いいえ



「1. はい」を選んだ方はこちらがいます。

問5-2 お子さんからみて、介護や介助が必要の方はどなたですか。（すべてに1）

1. 父親 2. 母親 3. 祖父母 4. まよごだい 5. その他（ ）

問6 現在住んでいる住宅の種類を教えてください。（1つに1）

1. 持ち家（親・親族名義も含む） 2. 民間賃貸住宅 3. 社宅・官舎  
4. 東営・市営・公営等の公営賃貸住宅 5. その他（ ）

お子さんのご両親について、おたずねします。(フリガナ欄の姓のみを、おたずねするお名前と同じフリガナ)

問7 お子さんのご両親の年齢についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )			
1. 25歳未満	2. 25～29歳	3. 30～34歳	4. 35～39歳	5. 40～44歳	6. 45～49歳	7. 50～54歳	8. 55～59歳	9. 60歳以上

問8 お子さんのご両親は、職 を何をする仕事をしていらっしゃいますか。(それぞれ番号を1つ記入)

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 1つの仕事をしている								2. 複数の仕事をしている	3. 休職中	4. していない

(問9で「1」、「2」を記入した方にのみあります。)

問9 お子さんのご両親の主な仕事の雇用形態についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)  
 <複数の仕事をしている場合は、もっとも多い仕事の雇用形態を選んで記入してください。>

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 正社員・正規社員								2. 嘱託・契約社員・準社員	3. 派遣社員	
4. パート・アルバイト								5. 自営業	6. 会社経営者	7. その他 ( )

(問9で「1」、「2」を記入した方にのみあります。)

問10 お子さんのご両親が、睡眠時間 についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)  
 <片方が仕事場の場合、仕事が終わる時間を選んで記入してください。>

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 18時より前								2. 18～20時	3. 20～22時	4. 22時以降
5. 文化活動等のため決まっていない								6. 休養などで睡眠時間が一定でない		

(問9で「1」、「2」を記入した方にのみあります。)

問11 お子さんのご両親は、1週間に平均で通勤時間 掛かっていますか。(それぞれ番号を1つ記入)  
 <複数の仕事をしている場合は、合計して記入してください。>

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 20時間未満								2. 20～30時間未満	3. 30～40時間未満	4. 40～50時間未満
5. 50～60時間未満								6. 60時間以上		

[ここからは、質問にうかがいます。]

問12 お子さんのご両親の職業状況を教えてください。(それぞれ番号を：つ記入)

父親	下から番号を記入してください。	母親	下から番号を記入してください。
1. 自営である    2. 職業・業種がないがあるが日常生活に支障はない 3. 職業・業種がないのために日常生活に支障がある			

問13 お子さんのご両親が最後に通った学校について教えてください。(それぞれ番号を：つ記入)

父親	下から番号を記入してください。	母親	下から番号を記入してください。
1. 中学卒業    2. 高校卒業    3. 高校卒業    4. 高等・短大・専門学校卒業 5. 高等・短大・専門学校卒業    6. 大学卒業    7. 大学卒業    8. 大学院卒業 9. 大学院終了    10. その他(父親)：    11. その他(母親)：			

**お父様・お母様の状況について、おたずねします。**

問14 令和5年(1月～12月の1年間)の世帯全体の手取り収入の合計額は、おおよそいくらですか。家族全員の手取り収入(※1)から、税金や社会保険料の額(※2)を差し引いた後の額をお答えください。(1つに1)

- ※1 収入には、勤労者に対する給与だけでなく、株式配当や家賃収入などの副収入、年金収入、児童手当や児童手当手当などの公的手当、五月份、生活保護が該当します。
- ※2 所得税、住民税、社会保険料、固定資産税等の合計額です。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	21. 1,000万円以上
22. わからない		

問15 現在の暮らしの状況を経済的に見て、どのように感じていますか。(1つに1)

1. 優とりがある	2. やや優とりがある	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
-----------	-------------	-------	----------	--------

問16 あなたのご家庭では、お子さんのために次のことをしていますか。(すべてそれぞれ「1」から「3」)

	している	していない	
		方針で しない	経済的に できない
a) 毎月お小遣いをわたす	1	2	3
b) 成長に合わせて衣服や靴をそろえる	1	2	3
c) 習い事(スポーツ、音楽、習字など)に通わせる	1	2	3
d) 学習塾に通わせる	1	2	3
e) 子どもが読む本を購入したり、図書館で借りたりする	1	2	3
f) 誕生日のお祝いをする	1	2	3
g) クリスマスにプレゼントをあげる	1	2	3
h) 年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
i) 自宅で勉強ができる場所を用意する	1	2	3
j) 自宅にインターネットを利用できる環境を用意する (スマートフォン以外が通信可能(光回線など)を確保できる場合を除く)	1	2	3
k) 子どもの学校行事(修学旅行、運動会等)へ参加する	1	2	3
l) PTA名簿や学校活動のボランティアへ参加する	1	2	3

問17 あなたのご家庭では、過去1年間に経済的な理由により、次のような経験をされたことがありますか。(あてはまるものをすべてに、)

1. 必要な食料品を買えなかった
2. 家族が必要とする新しい衣服や靴を買えなかった
3. 学校で使う辞書やノートなどの学習用品が購入できなかった
4. 電気・ガス・水道の料金の支払いができなかった
5. 電話(固定・携帯)等の通信料の支払いができなかった
6. 家賃や住宅ローンの支払いができなかった
7. 給食費や学校費(税金)を滞りなく支払った
8. 税金や国民健康保険料、国民年金の支払いができなかった
9. 病院や歯科医院などの医療機関の受診ができなかった
10. 冠婚葬祭のつきあいができなかった
11. 理髪店や美容院に行けなかった
12. 趣味やレジャーに行けなかった
13. 生活費が不足して、親族や金融機関からお金を借りた
14. 特にない
15. その他( )

お子さんとの関わりやお子さんの成長について、お答えください。

問18 あなたのご家庭では、お子さんと一緒に次のようなことをしますか、  
 (a～j) それぞれについて、1つに1

	ほぼ 毎日 1	週に 3～4回 2	週に 1～2回 3	月に 1～2回 4	めった にない 5
a) お子さんの動画を見る	1	2	3	4	5
b) お子さんとからだを動かして遊ぶ	1	2	3	4	5
c) お子さんとコンピュータゲームで遊ぶ (テレビゲーム、携帯ゲームなど)	1	2	3	4	5
d) お子さんとカードゲームなどで遊ぶ (トランプ、ボードゲーム、将棋など)	1	2	3	4	5
e) お子さんと学校生活の話をする	1	2	3	4	5
f) お子さんと新聞や雑誌、ニュースの話をする	1	2	3	4	5
g) お子さんとテレビ番組の話をする	1	2	3	4	5
h) お子さんとソーシャルメディアの話をする (YouTubeやSNSなど)	1	2	3	4	5
i) お子さんと一緒に料理をする	1	2	3	4	5
j) お子さんと一緒に外出する	1	2	3	4	5

問19 お子さんと一緒に遊びや料理、芸術などをする時間は1日あたりどのくらいですか。平日と休日  
 7、それぞれの時間を記入してください。(それぞれ時間を1つ記入)

平日	休日
平日 1. 30分未満 2. 15～30分未満 3. 30分～1時間未満 4. 1～2時間未満 5. 2～3時間未満 6. 3～4時間未満 7. 4時間以上	休日 1. 30分未満 2. 15～30分未満 3. 30分～1時間未満 4. 1～2時間未満 5. 2～3時間未満 6. 3～4時間未満 7. 4時間以上

問20 あなたとお子さんとの関わり方について、次のようなことへの程度あてはまりますか、  
 (a～d) それぞれについて、1つに1

	あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはま らない	あてはまら ない
a) テレビやゲーム、インターネットの 視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように 勧めている(紙でも電子でも)	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み 聞かばをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、絵画や感想のこと について話をしてくれる	1	2	3	4

問21) お子さんの基本的な生活習慣や学習習慣についてお答えください。  
(a-j) それぞれについて、(1つに1点)

	できて いる	ほぼでき ている	あまり できて いない	できて いない	わから ない
a) 決まった時間に起きる	1	2	3	4	5
b) 決まった時間に寝る	1	2	3	4	5
c) 毎日朝食を食べる	1	2	3	4	5
d) 食後に歯をみがく	1	2	3	4	5
e) 毎日お風呂に入る	1	2	3	4	5
f) 遅刻をしないで学校に行く	1	2	3	4	5
g) 宿題をやる	1	2	3	4	5
h) 身の回りの物を整理整頓する	1	2	3	4	5
i) 挨拶をきちんとする	1	2	3	4	5
j) 友達と仲良くする	1	2	3	4	5

問22) あなたはお子さんに、どの段階まで教育を受けさせたいと希望しますが、(1つに1点)

1. 中学まで
2. 高校まで
3. 短大・高等・専門学校まで
4. 大学まで
5. 大学院まで
6. まだわからない

問23) 現実的には、お子さんはどの段階まで進学すると見えますか。(1つに1点)

1. 中学まで
2. 高校まで
3. 短大・高等・専門学校まで
4. 大学まで
5. 大学院まで
6. まだわからない

(1, 2, 3, 4, 5. に○をつけた方は、次の質問にも答えてください。)

問23) 2 質問を答える理由を教えてください。(あてはまるものをすべてに)

1. お子さんがそう希望しているから
2. 一般的な進路だと思うから
3. お子さんの学力を考慮して
4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. 特に理由はない
6. その他

問24) お子さんの将来のために行動をしていますが、(1つに1点)

1. 貯蓄をしている
2. 貯蓄したいが、できていない
3. 貯蓄をするつもりはない



子育てなどの悩みや子育て支援の利用率について、おたずねします

問25 あなたは現在、お子さんのことで次のような悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |            |            |         |            |          |
|------------|------------|---------|------------|----------|
| 1. 発育・発達   | 2. 病気・健康関連 | 3. 生活習慣 | 4. 友人関係    | 5. 進学・進路 |
| 6. アコ      | 7. いじめ     | 8. 不登校  | 9. 非行・問題行動 | 10. 学力問題 |
| 11. その他( ) |            |         |            | 12. 特になし |

問26 あなたは現在、ご自身の生活に関して、どのようなことについて悩んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |          |            |           |        |       |          |
|----------|------------|-----------|--------|-------|----------|
| 1. 生活費   | 2. 子どもの教育費 | 3. 仕事     | 4. 住まい | 5. 健康 | 6. 対人関係  |
| 7. 自身の幸福 | 8. 家族      | 9. その他( ) |        |       | 10. 特になし |

問27 この条件(子どもは動く)を満ちて、次のようにあなたを支えてくれたり、手伝ってくれたりする人はいますか。a-hそれぞれについて、1つに○

	いる	いない	わからない
a) 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
b) あなたの気持ちを探して思いやってくれる人	1	2	3
c) 趣味などの話を聞いて、気分転換させてくれる人	1	2	3
d) 子どもとの関わりについて、助言してくれる人	1	2	3
e) 子どもの子びや遊びを豊かにする情報をくれる人	1	2	3
f) 体調が悪い時に、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
g) 留守を助める人	1	2	3
h) いざという時に、お金の援助をしてくれる人	1	2	3

問28 あなたは、子どもに関する支援策などの情報をどんな方法で受け取っていますか。また、今後、どんな方法で受け取りたいですか。a, bそれぞれについて、あてはまるものすべてに○

a) 現在の受け取り方法	b) 今後、受け取りたい方法
1. 広報はままつ等の広報誌	1. 広報はままつ等の広報誌
2. 浜松市公式ホームページ	2. 浜松市公式ホームページ
3. 浜松市子育て情報サイト(わか)	3. 浜松市子育て情報サイト(わか)
4. SNS (Facebook, LINE, IG, Twitter等)	4. SNS (Facebook, LINE, IG, Twitter等)
5. 学校からのおたより	5. 学校からのおたより
6. 家族や友人からの情報	6. 家族や友人からの情報
7. その他( )	7. その他( )

- 例29 あなたは、今回の調査が行っている次の支援制度を利用したことがありますか、また、利用していない場合はその理由を選んでください。（※a～fそれぞれ1つずつ）  
 ※理由の内容については、直封のアンケートの必要欄をご確認ください。

	利用している/したことがある	利用していない理由				
		知っていたが利用する必要がない	利用したいが競争にあてられない	利用するのかわからない	利用の手続きが分からない	必要を感じない
a) 就学援助	1	2	3	4	5	6
b) 生活保護	1	2	3	4	5	6
c) 生活困窮者の自立支援支援窓口	1	2	3	4	5	6
d) 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6
e) ひとり親サポートセンター	1	2	3	4	5	6
f) 行政の子育て相談窓口 (社会福祉課、児童相談所など)	1	2	3	4	5	6

- 例30 あなたは、お住いの近くで、次のような取り組みや支援が行われていたら、利用したいと思えますか。（※a～eそれぞれ1つずつ）  
 ※取り組みや支援制度の内容については、同封のアンケートの参考資料をご確認ください。

	使ってみたい	興味がある	使いたくない	必要がない
a) 子どもの居場所（無料の子どもが自由に過ごせる場所）	1	2	3	4
b) 子ども食堂（無料か低額で食事提供する地域食堂）	1	2	3	4
c) 学習支援（放課後等に無料または低額で大学生等が学習指導）	1	2	3	4
d) 食料支援（フードバンク等による食料の無償提供）	1	2	3	4
e) 相談支援（子育てや生活上の困りごとへの相談対応）	1	2	3	4

- 例31 すべての子どもたちが健やかに育っていくために必要と思ふ支援や取り組みについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です、ご協力ありがとうございました。

④調査票（16～17歳の子どもの保護者用）

令和6年1月

浜松市子どもの生活実態調査（16～17歳の子どもの保護者用）

★この欄目の説明については、「調査に回答いただく保護者の皆様へ」のお手紙をご確認ください。

あなた（回答者）のこと、あなたの世帯のことについて、おたずねします。

問1 ご回答いただく方はとなたですか、お子さんからみて関係をお答えください。（1つに1つ）

1. 父親 2. 母親 3. その他（具体的に）

問2 お住まいの区はどこですか。旧区が不明な方はお送りした封筒の宛先住所に旧区名が記載されているので、そちらをご確認ください。（1つに1つ）

- 中央区のうち 1. 東中区 2. 旧東区 3. 旧西区 4. 旧南区 5. 旧北区  
浜名区のうち 6. 北北区 7. 旧浜東区 8. 天竜区

問3 現在の婚姻状況を教えてください。（1つに1つ）

1. 結婚している（市営・共済も含む） 2. 離婚（再婚も含む） 3. 死別 4. 未婚

問4 お子さんの卒校を教えてください。主子さんからみて関係をお答えください。

（あてはまる方の番号すべてに○、人数はカッコ内に数字）

※卒校は、夏休前一律とし、SICA併し専攻生活している方を除きます。

✓専攻生活している卒業や在学中の子は、入団中の方など、原則同一欄目している場合は家族に含めてください。

1. 父親 2. 母親  
3. お子さん（たち） → カッコ内に人数を記入（宛名のお子さんも人数に含める）

卒業学年		小学生	中学生	高校生	専門学校生 大学生	社会人	その他
3歳未満	3歳以上						
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

4. 父方の祖父 5. 父方の祖母 6. 母方の祖父 7. 母方の祖母  
8. その他 → ( )人

問5 家族に介護や介助を必要とする方はいますか。（1つに1つ）

1. はい 2. いいえ

↓ 「1. はい」を選んだ方はこちらがいます。

問5-2 お子さんからみて、介護や介助が必要の方はとなたですか。（すべてに1つ）

1. 父親 2. 母親 3. 祖父母 4. まよごだい 5. その他（ ）

問6 現在住んでいる住宅の種類を教えてください。（1つに1つ）

1. 持ち家（親・親族名義も含む） 2. 民間賃貸住宅 3. 社宅・官舎  
4. 東営・市営・公営等の公営賃貸住宅 5. その他（ ）

お子さんのご両親について、おたずねします。(フリガナ欄の記載内容、よく見えるようにお書きください)

問7 お子さんのご両親の年齢についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )			
1. 25歳未満	2. 25～29歳	3. 30～34歳	4. 35～39歳	5. 40～44歳	6. 45～49歳	7. 50～54歳	8. 55～59歳	9. 60歳以上

問8 お子さんのご両親は、仕事 を何をする仕事 をしていますか。(それぞれ番号を1つ記入)

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 1つの仕事をしている								2. 複数の仕事をしている	3. 休職中	4. していない

[問9で「1」、「2」を記入した方にのみあります。]

問9 お子さんのご両親の主な仕事の雇用形態についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)  
 <複数の仕事をしている場合は、もっとも多い仕事の雇用形態を選んで記入してください。>

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 正社員・正規社員								2. 嘱託・契約社員・準社員	3. 派遣社員	
4. パート・アルバイト								5. 自営業	6. 会社経営者	7. その他 ( )

[問9で「1」、「2」を記入した方にのみあります。]

問10 お子さんのご両親が、睡眠時間 についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)  
 <自宅が仕事場の場合は、仕事の終わる時間を記入してください。>

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 18時より前								2. 18～20時	3. 20～22時	4. 22時以降
5. 文化活動等のため決まっていない								6. 休養などで睡眠時間が一定でない		

[問9で「1」、「2」を記入した方にのみあります。]

問11 お子さんのご両親は、1週間に平均で睡眠時間 していますか。(それぞれ番号を1つ記入)  
 <複数の仕事をしている場合は、合計して記入してください。>

父親	Tから番号を並び記入→ ( )			母親	Tから番号を並び記入→ ( )					
1. 20時間未満								2. 20～30時間未満	3. 30～40時間未満	4. 40～50時間未満
5. 50～60時間未満								6. 60時間以上		

[ここからは、質問にうかがいます。]

問12 お子さんのご両親の職業状況を教えてください。(それぞれ番号を：つ記入)

父親	下から番号を記入( )	母親	下から番号を記入( )
1. 自営である    2. 職業    種がないがあるが日常生活に支障はない 3. 職業    種がないのために日常生活に支障がある			

問13 お子さんのご両親が最後に通った学校について教えてください。(それぞれ番号を：つ記入)

父親	下から番号を記入( )	母親	下から番号を記入( )
1. 中学卒業    2. 高校卒業    3. 高校卒業    4. 高等・短大・専門学校卒業 5. 高等・短大・専門学校卒業    6. 大学卒業    7. 大学卒業    8. 大学院卒業 9. 大学院終了    10. その他(父親)：    11. 母親：			

**次の状況について、おたずねします。**

問14 令和5年(1月～12月の1年間)の世帯全体の手取り収入の合計額は、おおよそいくらかですか。家族全員の手取り収入(※1)から、税金や社会保険料の額(※2)を差し引いた後の額をお答えください。(1つに1)

- ※1 収入は、勤めて得た給与・金手付け等、自営・副業の収入等の収入、年金収入、児童手当や児童手当手当等の公的手当、五月份、生活保護給付金等です。
- ※2 所得税、住民税、社会保険料、固定資産税等の合計額です。

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～450万円未満
10. 450～500万円未満	11. 500～550万円未満	12. 550～600万円未満
13. 600～650万円未満	14. 650～700万円未満	15. 700～750万円未満
16. 750～800万円未満	17. 800～850万円未満	18. 850～900万円未満
19. 900～950万円未満	20. 950～1,000万円未満	21. 1,000万円以上
22. わからない		

問15 現在の暮らしの状況を経済的に見て、どのよつに感じていますか。(1つに1)

1. 優とりがある	2. やや優とりがある	3. 普通	4. やや苦しい	5. 苦しい
-----------	-------------	-------	----------	--------

問16 あなたの家庭では、お子さんのために次のことをしていますか。(a～j)それぞれ「1つに1つ」

	している	していない	
		方針で しない	経済的に できない
a) 毎月お小遣いをわたす	1	2	3
b) 色柄に合わせた衣服や靴をそろえる	1	2	3
c) 習い事(スポーツ、音楽、習字など)に通わせる	1	2	3
d) 学習塾に通わせる	1	2	3
e) 子どもが読みたい本を購入したり、図書館で借りたりする	1	2	3
f) 誕生日のお祝いをする	1	2	3
g) クリスマスにプレゼントをあげる	1	2	3
h) 年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
i) 日曜日勉強が出来る場所を用意する	1	2	3
j) 自宅にインターネットを利用できる環境を用意する (スマートフォン以外の通信環境(無線LANや有線LAN)による通信環境)	1	2	3

問17 あなたの家庭では、過去1年間に経済的な理由により、どのような経験をされたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要な日用品を買いなかつた
2. 家族が必要とする新しい衣服や靴を買いなかつた
3. 学校で使う体操服やノートなどの学習用品が購入できなかった
4. 電気・ガス・水道の料金の支払いができなかつた
5. 電話(固定・携帯)等の通信料の支払いができなかつた
6. 車貸や住宅ローンの支払いができなかつた
7. 授業料や学校納付金を滞納した
8. 税金や国民健康保険料、国民年金の支払いができなかつた
9. 病院や歯科医院などの医療機関の受診ができなかつた
10. 結婚披露のつきあひができなかつた
11. 理髪店や美容院に行けなかつた
12. 歯科やレジャーに行けなかつた
13. 生活費が不足して、親族や金融機関からお金を借りた
14. 持たない
15. その他( )

お子さんとの関わりやお子さんの成長について、お答えください。

問18 あなたの家庭では、お子さんと一緒に次のようなことをしますか。  
(a~j) それぞれについて、1つに○

	ほぼ 毎日	1週に 2~4回	1週に 1~2回	月に 1~2回	めった にない
a) お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
b) お子さんと運動する	1	2	3	4	5
c) お子さんとゲーム等で遊ぶ (テレビゲーム、携帯ゲーム、トランプなど)	1	2	3	4	5
d) 家族生活(働いている場合は職場)の話をする	1	2	3	4	5
e) お子さんと趣味の話をする	1	2	3	4	5
f) お子さんと時事問題、ニュースの話をする	1	2	3	4	5
g) お子さんとテレビ番組の話をする	1	2	3	4	5
h) お子さんとソーシャルメディアの話をする (YouTubeやブログなど)	1	2	3	4	5
i) お子さんと一緒に料理をする	1	2	3	4	5
j) お子さんと一緒に外出する	1	2	3	4	5

問19 お子さんと一緒に遊びや料理、会話などをする時間は1日あたりどのくらいですか。平日と休日で、それぞれの時間数を答えてください。(それぞれ番号を1つ記入)

平日	下から番号を記入してください。	休日	下から番号を記入してください。
1. 0~15分未満	2. 15~30分未満	3. 30分~1時間未満	4. 1~2時間未満
5. 2~3時間未満	6. 3~4時間未満	7. 4時間以上	

問20 あなたとお子さんとの関わり方について、次のようなことについての頻度や程度はありますか。  
(a~d) それぞれについて、1つに○

	あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはま らない	あてはまら ない
a) テレビやゲーム、インターネットの 視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように 勧めている(紙でも電子でも)	1	2	3	4
c) お子さんがかさいころ、絵本の読み 聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、言葉や成績、仕事の ことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問22) お子さんの基本的な生活習慣や学習習慣についてお答えください。  
(a-j) それぞれについて、(1つに1点)

	できて いる	ほぼでき ている	あまり できて いない	できて いない	わから ない
a) 決まった時間に起きる	1	2	3	4	5
b) 決まった時間に寝る	1	2	3	4	5
c) 毎日朝食を食べる	1	2	3	4	5
d) 食後に歯をみがく	1	2	3	4	5
e) 毎日お風呂に入る	1	2	3	4	5
f) 通塾をしないか学校のお迎えに行く	1	2	3	4	5
g) 宿題をする	1	2	3	4	5
h) 身の回りの物を整理整頓する	1	2	3	4	5
i) 挨拶をきちんとする	1	2	3	4	5
j) 友達と仲良くする	1	2	3	4	5

問23) あなたはお子さんに、との段階まで教育を受けさせたいと希望しますが、(1つに1点)

1. 中学まででよい
2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで
4. 大学まで
5. 大学院まで
6. まだわからない

問23-1) 将来的には、お子さんはどの段階まで進学すると見えますか。(1つに1点)

1. 中学まで
2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校まで
4. 大学まで
5. 大学院まで
6. まだわからない

(1, 2, 3, 4, 5. に○をつけた方は、次の質問にも答えしてください。)

問23-2) 同時に7つ答えられた理由をお答えください。(全てはまるものすべてに1点)

1. お子さんがそう希望しているから
2. 一般的な進路だと思うから
3. お子さんの学力を考慮して
4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. 特に理由はない
6. その他( )

問24) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(1つに1点)

1. 貯蓄をしている
2. 貯蓄したいが、できていない
3. 貯蓄をするつもりはない



子育てなどの悩みや子育て支援の利用率について、おたずねします

問25 あなたは現在、お子さんのことで次のような悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 発育・発達 2. 病気・健康関連 3. 生活習慣 4. 友人関係 5. 進学・進路  
6. アコ 7. いじめ 8. 不登校 9. 非行・問題行動 10. 学力問題  
11. その他( ) 12. 特になし

問26 あなたは現在、ご自身の生活に関して、どのようなことについて悩んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活費 2. 子どもの教育費 3. 仕事 4. 住まい 5. 健康 6. 対人関係  
7. 自身の幸福 8. 家族 9. その他( ) 10. 特になし

問27 この条件(子どもは動く)を満ちて、次のようにあなたを支えてくれたり、手伝ってくれたりする人はいますか。a-hそれぞれについて、1つに○

	いる	いない	わからない
a) 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
b) あなたの気持ちを探して思いやってくれる人	1	2	3
c) 趣味などの話を聞いて、気分転換させてくれる人	1	2	3
d) 子どもとの関わりについて、助言してくれる人	1	2	3
e) 子どもの子びや遊びを豊かにする情報をくれる人	1	2	3
f) 体調が悪い時に、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
g) 留守を助める人	1	2	3
h) いざという時に、お金の援助をしてくれる人	1	2	3

問28 あなたは、子どもに関する支援策などの情報をどんな方法で受け取っていますか。また、今後、どんな方法で受け取りたいですか。a, bそれぞれについて、あてはまるものすべてに○

a) 現在の受け取り方法	b) 今後、受け取りたい方法
1. 広報はままつ等の広報誌	1. 広報はままつ等の広報誌
2. 浜松市公式ホームページ	2. 浜松市公式ホームページ
3. 浜松市子育て情報サイト(わか)	3. 浜松市子育て情報サイト(わか)
4. SNS (Facebook, LINE, IG, Twitter等)	4. SNS (Facebook, LINE, IG, Twitter等)
5. 学校からのおたより	5. 学校からのおたより
6. 家族や友人からの情報	6. 家族や友人からの情報
7. その他( )	7. その他( )

- 例29 あなたは、行政機関等が行っている次の支援制度を利用したことがありますか、また、利用していない場合はその理由を記入してください。（a～fそれぞれ1つだけ）  
 ※制度の内容については、同封のアンケートの参考資料をご覧ください。

	利用している/したことがある	利用していない理由					制度を知らない
		知っていたが利用する必要がある/がない	利用したいが要領にあてはまらない	利用するのかわからない	利用の手続きが分からない		
a) 高校生等への奨学金支援（奨学金減免や奨学金給付金など）	1	2	3	4	5	6	
b) 生活費減免	1	2	3	4	5	6	
c) 生活困窮者の自立相談支援窓口	1	2	3	4	5	6	
d) 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	
e) ひどい親サポートセンター	1	2	3	4	5	6	
f) 行政の子育て相談窓口（社会福祉院、茶店児童相談所など）	1	2	3	4	5	6	

- 例30 あなたは、お住いの近くで、次のような取り組みや支援が行われていたら、利用したいと思えますか。（a～eそれぞれ1つだけ）  
 ※取り組みや支援制度の存在については、同封のアンケートの参考資料をご覧ください。

	使ってみたい	興味がある	使いたくない	必要がない
a) 子どもの居場所（無料の子どもが自由に過ごせる場所）	1	2	3	4
b) 子ども食堂（無料が低額で食事提供する地域食堂）	1	2	3	4
c) 学習支援（放課後等に無料または低額で大学生等が学習指導）	1	2	3	4
d) 食料支援（フードバンク等による食料の無償提供）	1	2	3	4
e) 相談支援（子育てや生活上の困りごとへの相談対応）	1	2	3	4

- 例31 すべての子どもたちが健やかに育っていくために必要と思ふ支援や取り組みについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です、ご協力ありがとうございました。

## (2) 子ども調査

### ①調査票（小学5年生、中学2年生用）

<b>令和6年3月</b>
<b>はままつこ せいかつくつたいちようさ</b> <b>浜松市子どもの生活実態調査</b> (小学5年生、中学2年生用)
<b>★アンケートへのご協力のお願い★</b>
このアンケートは、浜松市役所がまちづくりのために 行っています。浜松市で生活するみなさんが、夢や希望をもちこまじく成長できる社会をつくるために、みなさんの考えや学校・家庭の様子について調査するものです。みなさんからいただいたご意見を参考に、必要な取り組みを考えたいと思いますので、ご協力をお願いします。
<b>★アンケート記入にあたって★</b>
・用紙から送った封筒に名前を書いてあるお子さんが自分で書いてください。 ・名前や住所は書かなくて大丈夫。それが何を答えるかを知られることはありません。 ・書いた内容をあつちの方や学校の先生が見ることもありません。 ・まちがった答えや正しい答えはありませんので、あなたが思う答えを書いてください。 ・答えたくない質問には、答えなくてもかまいません。次の質問に進んでください。 ・「その他」に記入をつけた場合には（ ）内に答えを書いてください。
<b>★記入が終わったら★</b>
(1) 書き終わったら、「子ども用封筒」と書かれた茶色の小さな封筒に折りたたんで入れてください。 (2) 封筒にはゆりがついているので、テープをはがして閉じてください。 (3) 封筒を折したら、おうちの別の封筒と一緒に、返信用の大きき封筒（茶色）に入れて、郵便ポストに入れてください。印手をはる必要はありません。
あなたの名前について、おたずねします。
<b>問1</b> 学年と性別を教えてください。(a～bそれぞれについて、1つに1つ)
a) 学年 → 1. 小学5年生      2. 中学2年生 b) 性別 → 1. 男      2. 女      3. 答えたくない
あなたの身長のことや体重のことについて、おたずねします。
<b>問2</b> おおよその身長、体重を教えてください。(カッコ内に数字で、もしくは答えたくないに○)
身長 (      ) cm      体重 (      ) kg      答えたくない

問3 今の健康状態を教えてください。(1つに○)

1. 良い 2. どちらかといえば良い 3. 普通 4. どちらかといえば悪い 5. 悪い

問4 歯が痛い時や口が荒れた時、歯が痛い時など口が荒れることが多いですか。(1つに○)

1. すぐに病院に行く 2. 薬を飲んだり使ったりする 3. 構わない  
4. その他( )

問5 週にどのくらい歯磨きをしていますか。(a～e それぞれについて、1つに○)

	毎日歯磨きする (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日 (歯磨きしない)
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みなど学校がない日の昼食	1	2	3	4

問6 食事はたれと食えることが多いですか。(a～e それぞれについて、1つに○)

		親と食える	親以外の家族と食える	家族以外と食える	ひとりで食える	食べない
学校の ある日	a) 朝食	1	2	3	4	5
	b) 夕食	1	2	3	4	5
学校の ない日	c) 朝食	1	2	3	4	5
	d) 昼食	1	2	3	4	5
	e) 夕食	1	2	3	4	5

問7 16 食以外で、次のa～gの食べ方について、おたくと比べて多いか少ないかを教えてください。(a～g それぞれについて、1つに○)

	ほぼ毎日食える	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	食べない
a) ご飯やパンなど主食	1	2	3	4	5
b) 野菜	1	2	3	4	5
c) くだもの	1	2	3	4	5
d) 肉や魚	1	2	3	4	5
e) インスタント食品(カップめんなど)	1	2	3	4	5
f) コンビニのお弁当やおにぎり	1	2	3	4	5
g) お菓子	1	2	3	4	5

あなたの家族の半生のことについて、お答えください。

問8 学校がある日（月曜日～金曜日）の間、決められた時間に起きることができずか。  
（1つに1つ）

1. 起きることができず 2. どちらかと言えば起きることができず  
3. どちらかと言えば起きることができない 4. 起きることができない

問9 学校がある日の前日は、何時ごろ寝ることが多いですか。（1つに1つ）

1. 午後9時より早い時間 2. 午後9時～午後10時 3. 午後10時～午後11時  
4. 午後11時～午後12時 5. 午後12時より遅い時間

問10 学校がある日の休講後（夕方6時くらいまで）たれと過ごすことが多いですか。  
（一番多い人の番号1つに1つ）

1. 大人の家族（おじいさん・おばあさん、親戚きなども含む） 2. きょうだい  
3. 放課後児童会や児童館などの施設の先生 4. 友だち 5. 部活動の仲間、先生  
6. 塾や習いごとの先生 7. 近所の大人 8. 一人である 9. その他（ ）

問11 学校がある日の休講後（夕方6時くらいまで）どこにすることが多いですか。それぞれについて、おおよその日数を教えてください。（1日～とそれぞれについて、1つに1つ）

	毎日	週に 3～4日	週に 1～2日	ほとんど ない
a) 自分の家（親など大人がいる）	1	2	3	4
b) 自分の家（大人がいないが、 きょうだいや叔父と過ごす）	1	2	3	4
c) 自分の家（一人で過ごす）	1	2	3	4
d) 友だちの家（大人もいる）	1	2	3	4
e) 友だちの家（大人がいない）	1	2	3	4
f) 親戚の家（おじいさんの家など）	1	2	3	4
g) 放課後児童会（学童保育）や児童館	1	2	3	4
h) 塾、習いごと	1	2	3	4
i) 学校（部活動、クラブ活動など）	1	2	3	4
j) 公園・広場などの屋外のおそび場	1	2	3	4
k) その他（ ）	1	2	3	4

問12 学校のある日の放課後の時間（帰宅までの時間）をどのように過ごしていますか。それぞれについて、おおよその時間を教えてください。（a～mそれぞれについて、1つに1つ）

	しない	30分 未満	30分 ～1時間	1時間 ～2時間	2時間 ～3時間	3時間 以上
a) 勉強や宿題をする (塾や家庭教師なども含む)	1	2	3	4	5	6
b) 読書をする(マンガはのぞく)	1	2	3	4	5	6
c) マンガを読む	1	2	3	4	5	6
d) テレビやDVDを見る	1	2	3	4	5	6
e) ゲーム機で遊ぶ	1	2	3	4	5	6
f) スマートフォンなどを使い (ゲームやLINE, YouTube など)	1	2	3	4	5	6
g) 室内で遊ぶ	1	2	3	4	5	6
h) 公園や広場などで外で遊ぶ	1	2	3	4	5	6
i) 家事(食器の洗浄、洗たく、 そらじなど)をする	1	2	3	4	5	6
j) きょうだいの世話をする	1	2	3	4	5	6
k) 家族の介護・介助を手伝う	1	2	3	4	5	6
準えている場合、他の 介護・行動ですか？(すべてに○)	1. お父さん 2. お母さん 3. おじいさん・おばあさん 4. 兄/姉さん 5. 子/弟さん					
l) 習いごと(ピアノ、スポーツ クラブなど)をする	1	2	3	4	5	6
m) 部活動、クラブ活動をする	1	2	3	4	5	6

問13 次のなかから自分が持っているもの、使うことのできるものはありますか。また、ない場合はそれがほしいかどうかを教えてください。（a～hそれぞれについて、1つに1つ）

	ある	ないが、 ほしい	ないが、 ほしくない
a) 子ども部屋(きょうだいと使っている場合も含む)	1	2	3
b) 自分専用の勉強机	1	2	3
c) 家で一人で勉強や宿題ができる場所	1	2	3
d) インターネットにつながるパソコンなど (家族で使っている場合も含む)	1	2	3
e) スポーツ用品(グローブやラケット、ボールなど)	1	2	3
f) (自分用の) けいたい電話、スマートフォン	1	2	3
g) ゲーム機(ニンテンドースイッチなど)	1	2	3
h) 自転車	1	2	3

問14 ふたん、困っていることや悩みごと、楽しかったことなどがあったとき、たれにどのくらい話をしますか。電話やメール、LINEなども含めて考えてください。(a-h) それぞれについて、1つに1点

	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	話さない	どれも当くはみらない
a) 親	1	2	3	4	5
b) 昔より近い	1	2	3	4	5
c) おじいさんなどの親せき	1	2	3	4	5
d) 友だち	1	2	3	4	5
e) 学校の先生やカウンセラー	1	2	3	4	5
f) 故郷後援会などの先生や大人	1	2	3	4	5
g) 教や園いごとの先生	1	2	3	4	5
h) 近所の大人	1	2	3	4	5

問15 今困っていることや悩んでいること、だれかに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに1点)

- |                           |             |              |           |
|---------------------------|-------------|--------------|-----------|
| 1. 家族のこと                  | 2. 多くの生活のこと | 3. 学校での生活のこと | 4. 友だちのこと |
| 5. 部活動やクラブ活動のこと           | 6. 受験のこと    | 7. 進学 進路のこと  |           |
| 8. 自分のこと (からだ、性格、得意なことなど) | 9. その他 ( )  |              |           |
| 10. 何もない                  |             |              |           |

問16 次の場所などに、ふだんどのくらい出かけますか。(a-h) それぞれについて、1つに1点

	よく行く	時々行く	あまり行かない	まったく行かない
a) キャンプや海水浴、山のまり	1	2	3	4
b) 図書館や博物館、美術館	1	2	3	4
c) 映画館や音楽会、コンサート	1	2	3	4
d) スポーツ施設 (プール、スケート場など)	1	2	3	4
e) 外食 (ファミリーレストランなど)	1	2	3	4
f) 憩園地やテーマパーク	1	2	3	4
g) デパートやショッピングセンター	1	2	3	4
h) ゲームセンターやカラオケ店	1	2	3	4
i) 家族旅行	1	2	3	4

あなたの学校での半日のことや毎日のことについて、お答えください。

問17 学校生活での次のことについて、どのように感じますか。1a～g それぞれについて、1つに○

	とても 楽しみ	楽しみ	あまり楽し みではない	楽し み ではない
a) 授業の時間	1	2	3	4
b) 休み時間や昼休み時間	1	2	3	4
c) 給食やお弁当の時間	1	2	3	4
d) 授業以外の行事（運動会など）	1	2	3	4
e) 部活動やクラブ活動	1	2	3	4
f) 先生に会うこと	1	2	3	4
g) 友達と会うこと	1	2	3	4

問18 学校の授業がわからないことがありますか。（1つに○）

1. いつもわかる 2. たいていわかる  
3. 授業によってわからない 4. わからないことが多い 5. ほとんどわからない  
[3, 4, 5. に○をつけた人は 次の質問にも答え（くない）]

問18-2 いつごろから授業がわからなくなりましたか。（1つに○）

1. 小学1・2年生 2. 小学3・4年生 3. 小学5年生  
4. 小学6年生 5. 中学1年生 6. 中学2年生  
7. いつからかわからない 8. その他（ ）

問19 勉強がわからないときは、だれに助けを求めますか。（あてはまるものをすべて○）

1. お父さん・お母さん 2. 友達 3. おじいさん・おばあさん  
4. 友達 5. 学校の先生 6. 塾や習いごとの先生  
7. その他（ ） 8. 教えてもらう人がいない

問20 あなたの座席は、クラスの中でどれくらいだと感じますか。（1つに○）

1. 上のほう 2. やや上のほう 3. 真ん中あたり 4. やや下のほう  
5. 下のほう 6. わからない